



WinActor Manager on Cloud
Version 4.0

アンサンブルエディタ
ユーザーマニュアル

NTT アドバンステクノロジー株式会社

商標について

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®、©マークは省略しています。

- Microsoft、Windows^{※1}、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※1 Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

- その他の記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書について

この「WinActor Manager on Cloud アンサンプルエディタユーザーマニュアル」（以下、本書）は、WinActor Manager on Cloud（以下、WinActor Manager）のアンサンプルエディタをより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載したマニュアルです。

本書は、WinActor Manager のアンサンプルエディタを利用してスケジュール登録およびタスク実行するユーザを対象としています。

■ 本書に関する注意

- 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示の変更、削除をすることはできません。
本書の著作権は NTT アドバンステクノロジー株式会社に帰属します。
- 本書では、Windows の操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoft が提供しているドキュメントなどをご覧ください。




■ マニュアルの構成

WinActor Manager のマニュアル全体の構成については、以下を参照してください。

WinActor Manager on Cloud スタートアップマニュアル	WinActor を WinActor Manager に接続するための準備方法を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル	WinActor Manager の画面構成と基本的な操作方法について記述しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud シンプルモードユーザーマニ ュアル	シンプルモードユーザーが WinActor Manager の画面を操作するためのマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud アンサンプルエディタユーザ ーマニュアル	WinActor Manager の一機能であるアンサンプルエディタをより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているマニュアルです（本書）。
WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック	WinActor Manager をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているチュートリアルです。
WinActor Manager on Cloud WinActor 接続台数制限ユー ザーマニュアル	WinActorManager に接続できる WinActor 台数制限の設定時と非設定時の違いを記述しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud MCP サーバーユーザーマニ ュアル	WinActor Manager の一機能である MCP サーバーの操作方法について記載しているマニュアルです。

■ 本書のアイコン

本書で使用しているアイコンおよび記号の意味は、以下のとおりです。

	特に重要な情報
	本文、画面説明、操作などへの補足的な情報
	本書の他のページや他のマニュアルなどへの参照情報

WinActor Manager の利用環境

WinActor Manager を利用するための前提条件を以下に示します。

- WinActor と WinActor Manager の間の HTTPS 通信が可能であること。
- WinActor Manager にログインするためのブラウザとして、Google Chrome を使用すること。

WinActor Manager の使用に関する注意

WinActor Manager を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- WinActor Manager は、WinActor で使用するシナリオやデータファイル、WinActor がタスクを実行した結果ファイルを取り扱います。このため、シナリオやデータファイルおよび結果ファイルには、個人情報など含まれている可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- WinActor Manager は、端末にインストールされた WinActor を自動的に実行する機能を有しています。他者への迷惑行為を自動的に実行するなど、公序良俗に反する行為には使用しないでください。

目次

商標について	i
本書について	ii
WinActor Manager の利用環境	iv
WinActor Manager の使用に関する注意	iv
目次	v
1. アンサンブルエディタを開いてみよう	1
2. アンサンブルエディタの構成要素とは	3
2.1 アンサンブルエディタの構成要素	3
2.2 ステージの構成要素	4
2.2.1 シナリオの色について	6
2.2.2 シナリオ情報ポップアップの構成要素	7
2.3 スケジュール設定の構成要素	8
3. シナリオを追加しよう	12
4. 最初のシナリオを設定しよう	14
4.1 先頭のシナリオの設定項目について	16
4.1.1 入力パラメータをリクエスト文字列として設定しよう	17
4.1.2 入力パラメータをリクエストファイルとして設定しよう	19
4.1.3 承認者を設定しよう	21
4.1.4 データ一覧ファイルをリクエストファイルとして設定しよう	23
5. シナリオを並べよう	25
6. 2 段目以降のシナリオを設定しよう	27
6.1 2 段目以降のシナリオの設定項目について	29
6.1.1 入力パラメータで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう	30
6.1.2 入力パラメータで前段シナリオのアーカイブファイルを受け取ってみよう	33
6.1.3 正常終了したら次のシナリオを実行しよう	36
6.1.4 異常終了したら次のシナリオを実行しよう	38
6.1.5 正常終了、異常終了のどちらでも次のシナリオを実行しよう	40
6.1.6 データ一覧ファイルで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう	42
7. シナリオを並び替えてみよう	45
7.1 ドラッグ&ドロップでシナリオを並び替えてみよう	45

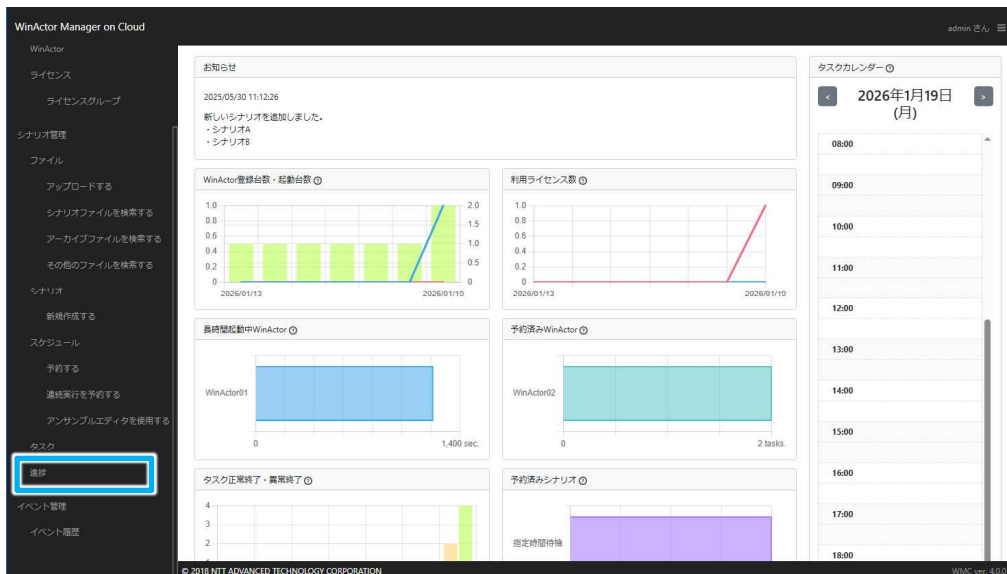
7.2	ステージからシナリオを削除してみよう	48
7.2.1	ステージのシナリオのxボタンからシナリオを削除しよう.....	49
7.2.2	スケジュール設定画面の削除ボタンからシナリオを削除しよう.....	51
7.3	赤色のシナリオの再設定を行おう	53
8.	スケジュールを登録しよう	55
9.	その他の操作.....	58
9.1	入力パラメータを設定しよう	58
9.1.1	文字列型の入力パラメータを設定しよう	59
9.1.2	ファイル型の入力パラメータを設定しよう.....	62
9.1.3	パスワード型の入力パラメータを設定しよう	65
9.2	詳細設定を行おう	69
9.2.1	スケジュール名を変更しよう	69
9.2.2	所属を設定しよう	71
9.2.3	データ一覧ファイルを設定しよう	73
9.2.4	実行させる WinActor を指定しよう	77
9.2.5	実行指定を変更しよう.....	80
9.2.5.1	実行指定で「即時」を設定しよう	82
9.2.5.2	実行指定で「日時指定」を設定しよう	84
9.2.5.3	実行指定で「毎日」を設定しよう	86
9.2.5.4	実行指定で「毎週」を設定しよう	88
9.2.5.5	実行指定で「毎月」を設定しよう	90
9.2.5.6	実行指定で「月末」を設定しよう	92
9.2.5.7	実行指定で「データ駆動」を設定しよう	94
9.2.5.8	実行指定で「条件指定」を設定しよう	96
9.2.6	アーカイブファイルを作成しよう	99
9.2.7	ログを出力しよう	101
9.2.8	異常発生時の WinActor の動作を設定しよう	103
9.2.9	終了後のメール送信の条件を指定しよう	105
9.2.10	リトライ回数を指定しよう	107
9.2.11	リトライ間隔を指定しよう	109
9.2.12	メモを設定しよう	111

1. アンサンブルエディタを開いてみよう

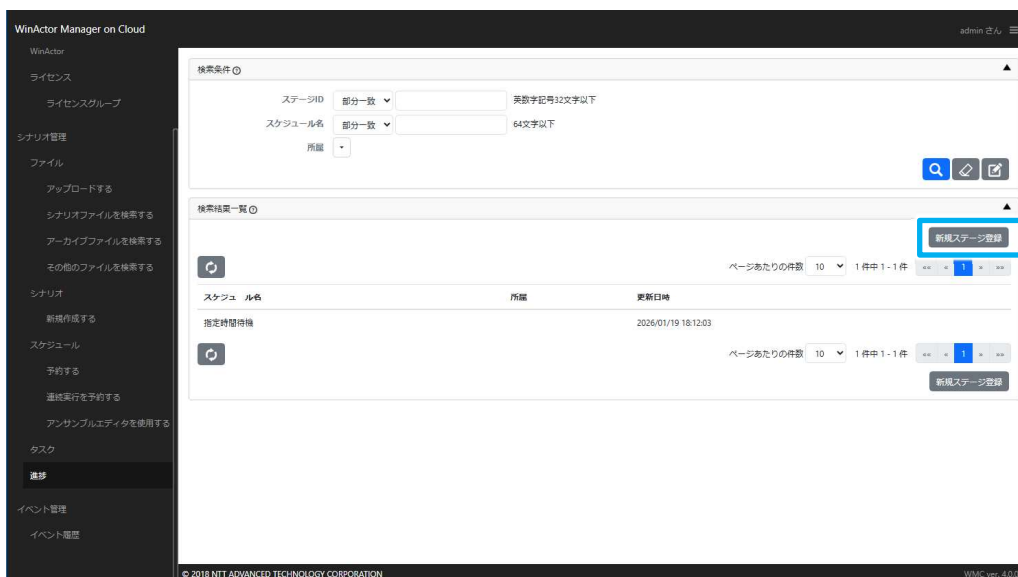
WinActor Manager のアンサンブルエディタを開く手順について説明します。

Steps

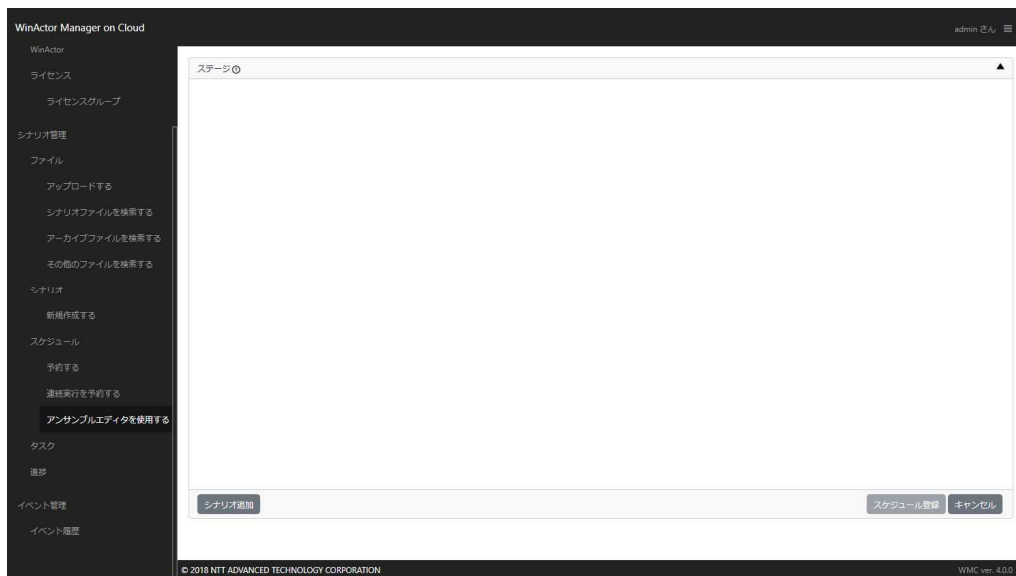
1. サブメニューから、[進捗] をクリックします。



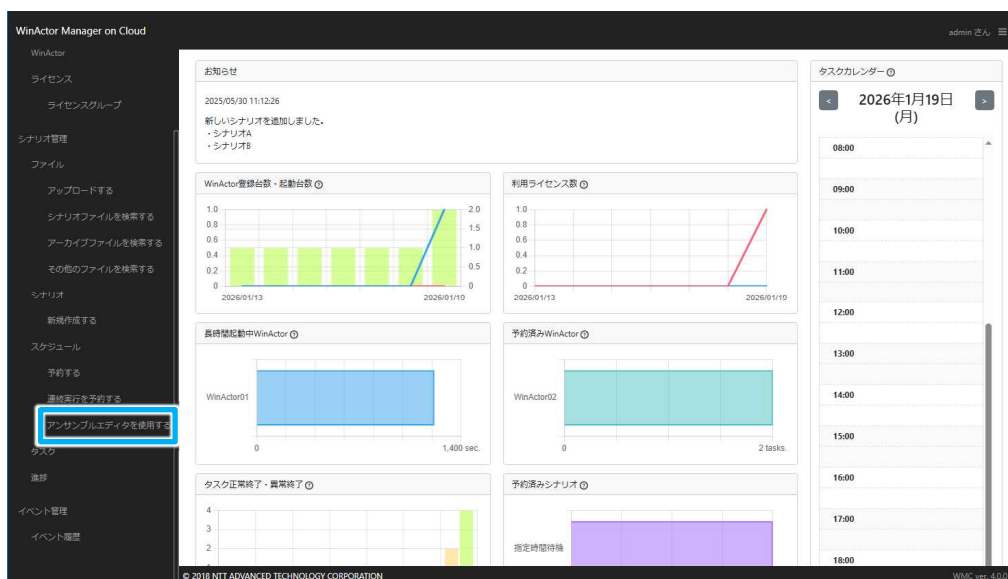
2. 進捗画面の検索結果一覧から [新規ステージ登録] をクリックします。



3. アンサンプルエディタが表示されます。



サブメニューから「アンサンプルエディタを使用する」をクリックすることで、アンサンプルエディタを表示することができます。



2. アンサンブルエディタの構成要素とは

この章では、アンサンブルエディタの画面構成について説明します。

2.1 アンサンブルエディタの構成要素

アンサンブルエディタの構成は、以下の通りです。

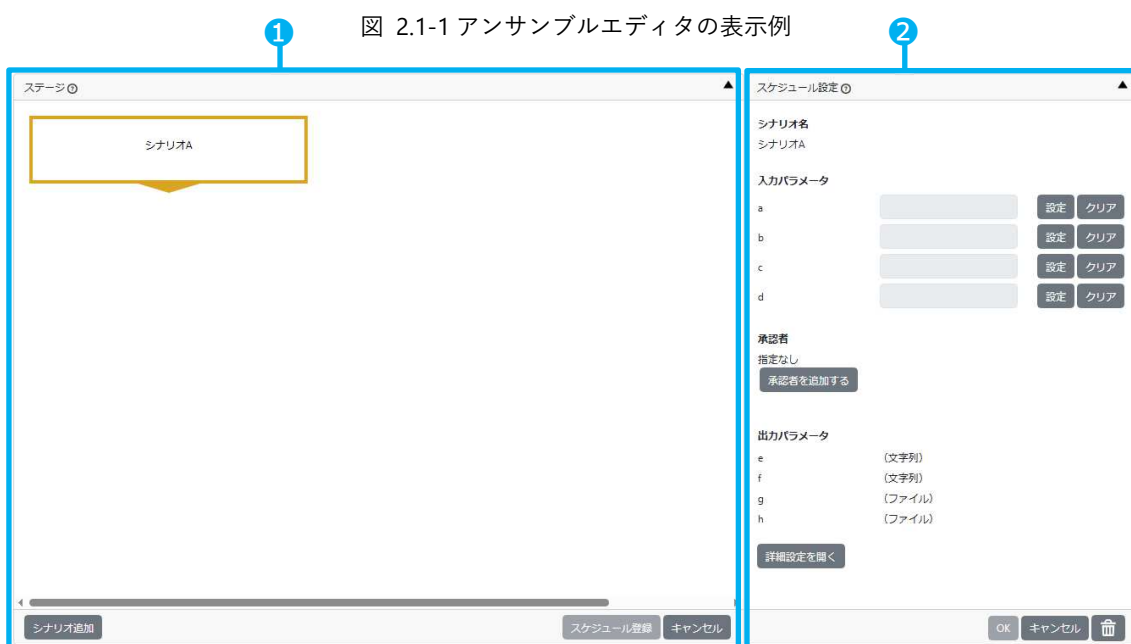


表 2.1-1 アンサンブルエディタの項目

No.	項目	概要
①	ステージ	アンサンブル機能で実行するシナリオを表示するエリアです。 ➡ ステージの構成については、『2.2 ステージの構成要素』を参照してください。
②	スケジュール設定	ステージ上のシナリオに対してスケジュールの設定をするためのエリアです。 ステージ上のシナリオをクリックすると表示されます。 ➡ スケジュール設定の構成については、『2.3 スケジュール設定の構成要素』を参照してください。

2.2 ステージの構成要素

アンサンプルエディタを開くと、まずステージ画面が表示されます。ステージ画面の構成要素は以下の通りです。

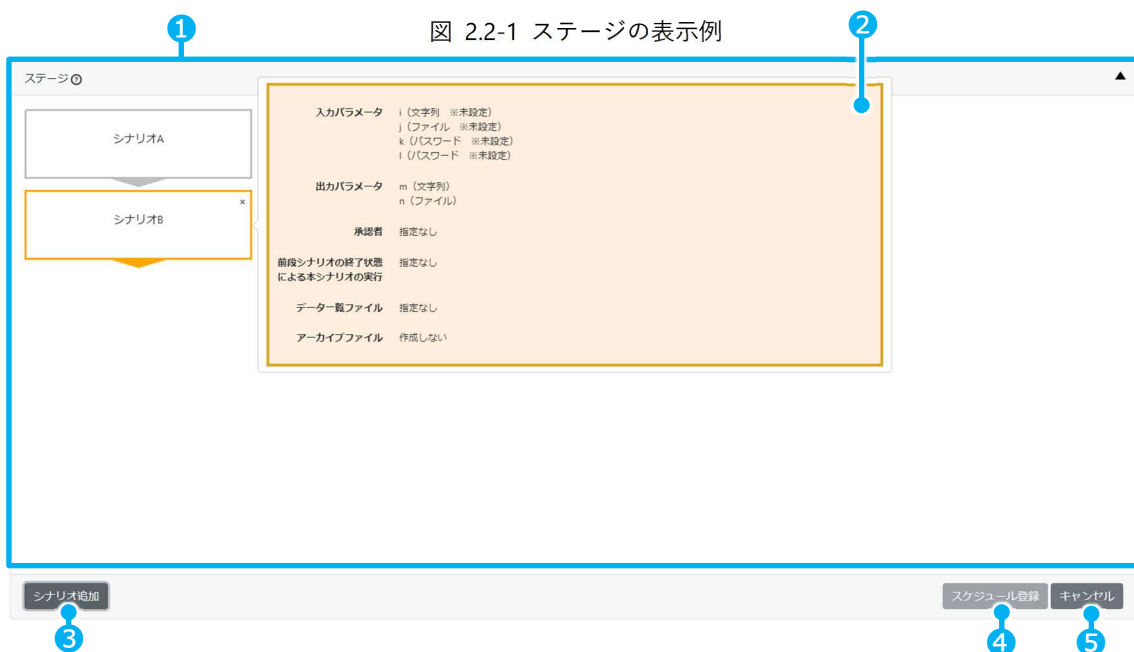


表 2.2-1 ステージの項目

No.	項目	概要
①	ステージ	<p>アンサンプル機能で実行するシナリオを表示します。初期状態では空欄ですが、シナリオを追加することでフロー図のように表示します。</p> <p>ステージ内の要素はマウスのドラッグアンドドロップで入れ替えることができます。</p> <p>さらに、ステージ内の要素右上の [×] ボタンをクリックすることで要素を削除することができます。</p> <p>➤ シナリオをステージに追加する方法については、『3 シナリオを追加しよう』を参照してください。</p> <p>➤ ステージ上のシナリオをドラッグ&ドロップで並び替える方法については、『7.1 ドラッグ&ドロップでシナリオを並び替えてみよう』を参照してください。</p> <p>➤ シナリオをステージから削除する方法については、『7.2.1 ステージのシナリオの×ボタンからシナリオを削除しよう』を参照してください。</p>
②	シナリオ情報ポップアップ	<p>シナリオにマウスオーバーをすると、そのシナリオに対して行ったスケジュールの設定内容を確認することができます。</p> <p>➤ シナリオ情報ポップアップの構成については、『2.2.2 シナリオ情報ポップアップの構成要素』を参照してください。</p>

No.	項目	概要
③	[シナリオ追加] ボタン	クリックすると、シナリオをステージに追加するためのダイアログを表示します。
④	[スケジュール登録] ボタン	クリックすると、ステージで設定したスケジュールをWinActorManagerへ登録します。 すべてのスケジュール登録に成功した場合は、進捗画面の検索画面に遷移します。
⑤	[キャンセル] ボタン	クリックすると進捗画面に戻ります。

2.2.1 シナリオの色について

ステージ内のシナリオは、ステータスにより色別に表示されます。シナリオの色は以下の4色があります。

表 2.2-2 各色のシナリオの状態

表示イメージ	状態
	まだスケジュールが設定されていないシナリオです。 ステージに追加されたシナリオの色は、初めはこの色となります。 このシナリオをクリックすると、スケジュール設定画面を開き、スケジュールの設定を行うことができます。 スケジュール設定が完了すると、シナリオの色が青色に変わります。
	すでにスケジュールが設定されているシナリオです。 このシナリオをクリックすると、スケジュール設定画面を開き、設定済みの内容の編集を行うことができます。 スケジュール設定が完了しても、シナリオの色は青色のままです。
	すでにスケジュールが設定されていますが、設定内容にエラーがあるシナリオです。 あるシナリオが青色のとき、シナリオの並び替えを行って、前段シナリオが別のシナリオに変わってしまった場合や、前段シナリオが削除された場合に、そのシナリオは青色からこの色に変わります。 このシナリオをクリックすると、スケジュール設定画面を開き、設定済みの内容の編集を行うことができます。 スケジュール設定が完了すると、シナリオの色が青色に戻ります。
	スケジュールが登録されたシナリオです。 このシナリオをクリックすると、スケジュール設定画面を開くことはできますが、設定内容の編集を行うことができません。 また、このシナリオは順番を入れ替えることができず、削除を行うこともできません。  スケジュール登録ボタンクリック後、エラーによりすべてのスケジュールの登録が行えなかった場合に、この色のシナリオが表示されます。

2.2.2 シナリオ情報ポップアップの構成要素

ステージに配置したシナリオをマウスオーバーすると、シナリオ情報をポップアップ表示します。シナリオ情報ポップアップの構成は、以下のとおりです。

図 2.2-2 シナリオ情報ポップアップの表示例

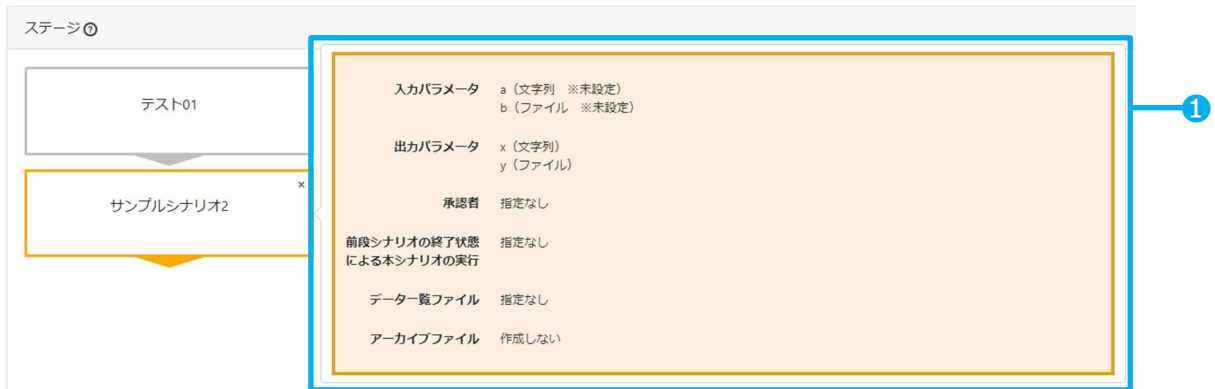


表 2.2-3 シナリオ情報ポップアップの項目

No.	項目	概要
①	表示項目	<p>シナリオマウスオーバー時にスケジュール設定画面で設定した内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入力パラメータ シナリオに設定されている入力パラメータ名と、スケジュール設定画面で設定した値が表示されます。 ● 出力パラメータ シナリオに設定されている出力パラメータ名が表示されます。 ● 承認者 スケジュール設定画面で設定した承認者名が表示されます。 ● 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行 スケジュール設定画面で設定した前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行条件が表示されます。 ● データ一覧ファイル スケジュール設定画面で設定したデータ一覧ファイル名が表示されます。 ● アーカイブファイル スケジュール設定画面で設定したアーカイブファイルの出力の有無を表示します。

2.3 スケジュール設定の構成要素

ステージに配置したシナリオをクリックすると、スケジュール登録に必要な情報を設定する画面が表示されます。スケジュール設定画面の構成は、以下のとおりです。

図 2.3-1 スケジュール設定の表示例

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] 設定 クリア

B [] 設定 クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル 家

スケジュール設定 ①

詳細設定を閉じる

スケジュール名
指定時間待機11 64文字以下

所属
共有 ▾

データ一覧ファイル
指定なし 設定 クリア

WinActor
指定なし
シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定
データ駆動 ▾

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

ログ
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信
 送信しない
 終了時に送信する
 正常終了時のみ送信する
 異常終了時のみ送信する

リトライ回数
0 0以上12以下の数値

リトライ間隔
0 0以上3600以下の数値 単位は秒



メモ
200文字以下




OK キャンセル 閉

5

2 3 4

表 2.3-1 スケジュール設定の構成要素

No.	項目	概要
①	スケジュール設定	<p>シナリオクリック時にステージの横に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオ名 編集対象のシナリオ名が表示されます。 入力パラメータ シナリオに設定されている入力パラメータ名が表示されます。[設定] ボタンをクリックすると入力パラメータに値を設定できます。[クリア] ボタンをクリックすると設定を解除することができます。 承認者 シナリオ実行の承認者を指定することができます。[承認者を追加する] ボタンをクリックすると承認者を指定できます。[クリア] ボタンをクリックすると承認者を解除することができます。 <p> 複数の承認者を指定する場合は複数回 [承認者を追加する] ボタンをクリックして指定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行 前段シナリオの終了状態に応じて、本スケジュールが実行されるかを設定します。設定対象のシナリオが先頭の場合は非表示になります。 <p> 設定できるのはひとつの終了条件に対してのみであり、正常終了時は A シナリオを実行、異常終了時は B シナリオを実行、と設定したい場合は本画面ではなく従来の方法でスケジュール登録を実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出力パラメータ シナリオに設定されている出力パラメータ名が表示されます。 [詳細設定を開く] ボタン ボタンをクリックすると、詳細設定を開きます。
②	[OK] ボタン	クリックすると、スケジュールの設定内容を確定します。
③	[キャンセル] ボタン	クリックすると、スケジュールの設定内容を保存しません。
④	[削除] ボタン	クリックすると、ステージからシナリオを削除します。
⑤	スケジュール設定 (詳細設定)	<p>「スケジュール設定」エリアに表示されている内容に加え、さらに設定を行いたい場合に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [詳細設定を閉じる] ボタン ボタンをクリックすると、詳細設定を閉じます。 スケジュール名 スケジュール名を設定します。 所属 所属を設定します。

No.	項目	概要
		<ul style="list-style-type: none"> <p>● データ一覧ファイル データ一覧ファイルを指定することができます。[設定] ボタンをクリックするとデータ一覧ファイルを設定できます。[クリア] ボタンをクリックすると設定を解除することができます。</p> <p> データ一覧ファイルを分割して複数の WinActor で実行することはできません。</p> <p>● WinActor シナリオを実行する WinActor を指定します。[シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンをクリックすると WinActor を指定できます。[クリア] ボタンをクリックすると設定を解除することができます。</p> <p> 指定できる WinActor はひとつまでとなります。ユーザーに WinActor を設定している場合はその WinActor が初期選択されます。</p> <p>● 実行指定 実行時のスケジュールの種別を指定します。</p> <p> ステージの先頭以外のシナリオでは、「データ駆動」以外を選択することができません。</p> <p>● アーカイブファイル シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成するか否かを選択します。</p> <p>● ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力するか否かを選択します。</p> <p>● 異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合の対処を選択します。</p> <p>● 終了後のメール送信 シナリオ実行後のメール送信の有無および送信契機を選択します。</p> <p>● リトライ回数 設定するスケジュールのリトライ回数を入力します。</p> <p>● リトライ間隔 設定するスケジュールのリトライ間隔を入力します。</p> <p>● メモ 設定するスケジュールのメモを入力します。</p>

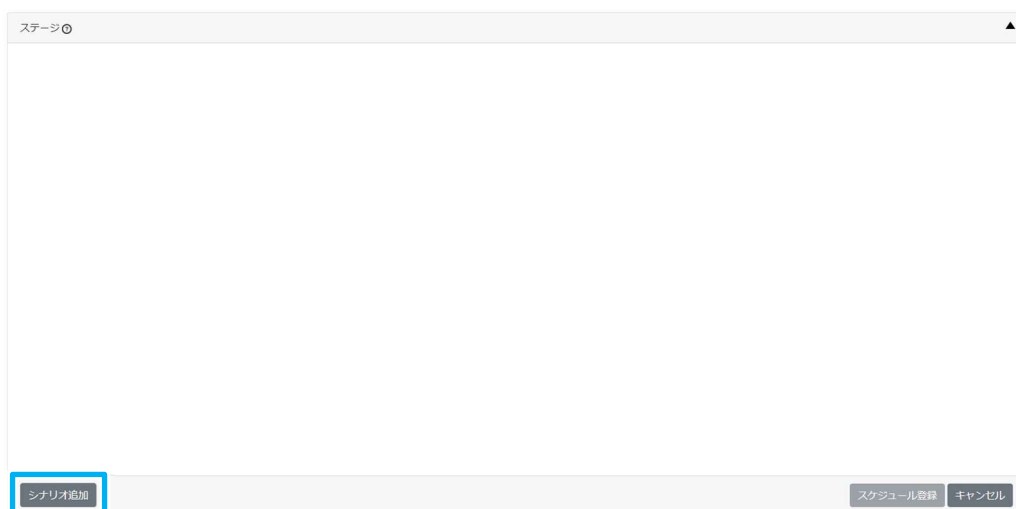
3. シナリオを追加しよう

アンサンプルエディタでスケジュールを実行するためには、そのスケジュールの実行元となるシナリオをステージに追加する必要があります。

ここでは、シナリオをステージに追加する方法を説明します。

Steps

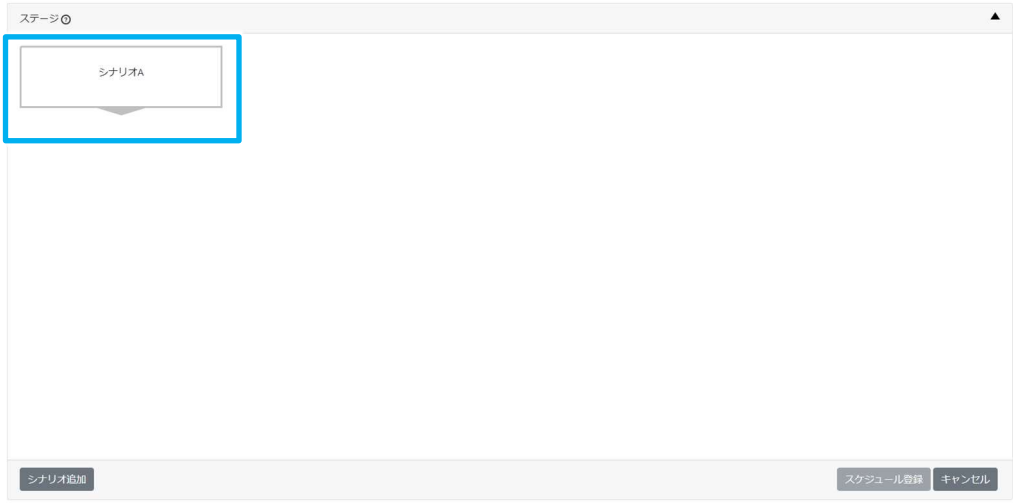
1. ステージの [シナリオ追加] をクリックします。



2. シナリオを選択するダイアログが表示されます。追加したいシナリオを選び、[選択] をクリックします。



3. ステージに選択したシナリオが追加されます。



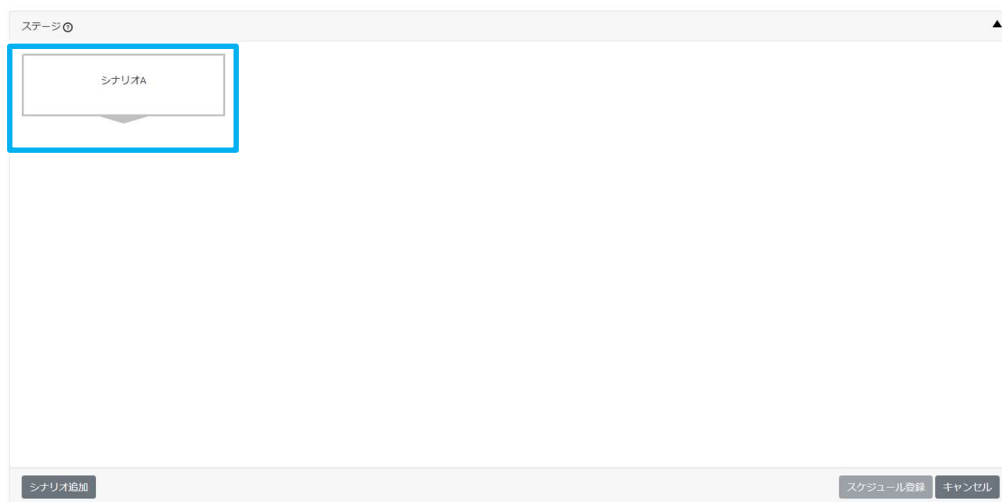
4. 最初のシナリオを設定しよう

ステージにシナリオを追加したあとは、そのシナリオを実行するためのスケジュールを設定する必要があります。

ここでは、ステージ内のシナリオに対してスケジュールを設定する方法を説明します。

Steps

1. ステージ内のシナリオをクリックします。

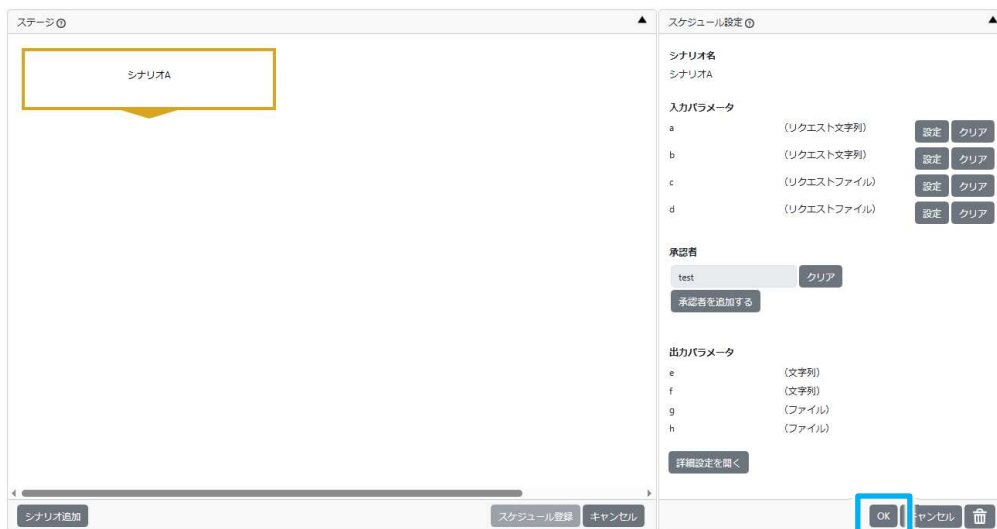


2. スケジュール設定画面が開かれるので、各項目に対して設定を行います。先頭のシナリオとして動かすためには設定しなければならない項目があり、その項目を設定しなければスケジュールの設定内容を確定させることができません。

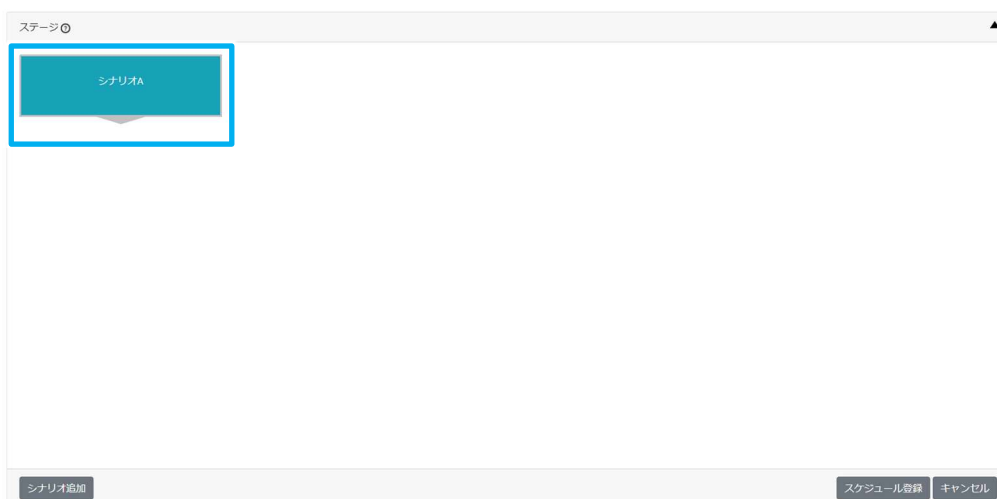
>> ステージ先頭のシナリオで設定する項目については、『4.1 先頭のシナリオの設定項目について』を参照してください。



3. [OK] をクリックします。



4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



4.1 先頭のシナリオの設定項目について

ステージ先頭のシナリオのスケジュール設定画面の「実行指定」では、初期状態で「データ駆動」が選択されています。「データ駆動」が選択されている場合、以下のいずれか、または複数の項目の組み合わせの設定が必要となります。

- ① 「入力パラメータ」で「リクエスト文字列とする」を選択
- ② 「入力パラメータ」で「リクエストファイルとする」を選択
- ③ 「承認者」で、承認者を1人以上指定
- ④ 「データ一覧ファイル」で「リクエストファイルとする」を選択

ここでは、上に挙げた各項目の設定方法について説明します。

- 「入力パラメータ」で「リクエスト文字列とする」を選択する方法については、『4.1.1 入力パラメータをリクエスト文字列として設定しよう』を参照してください。
- 「入力パラメータ」で「リクエストファイルとする」を選択する方法については、『4.1.2 入力パラメータをリクエストファイルとして設定しよう』を参照してください。
- 承認者を指定する方法については、『4.1.3 承認者を設定しよう』を参照してください。
- 「データ一覧ファイル」で「リクエストファイルとする」を選択する方法については、『4.1.4 データ一覧ファイルをリクエストファイルとして設定しよう』を参照してください。



スケジュール設定画面の「実行指定」では初期状態で「データ駆動」が選択されています。「実行指定」の設定を「データ駆動」から別の項目に変更することもできますが、その場合、①～④の設定を実施してしまうと、「データ駆動」から変更できなくなるためご注意ください。

4.1.1 入力パラメータをリクエスト文字列として設定しよう

入力パラメータに対し、リクエスト文字列として設定する方法を説明します。

リクエスト文字列と設定された入力パラメータは、スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定します。



文字列型の入力パラメータに対してのみ、「リクエスト文字列とする」を設定することができます。

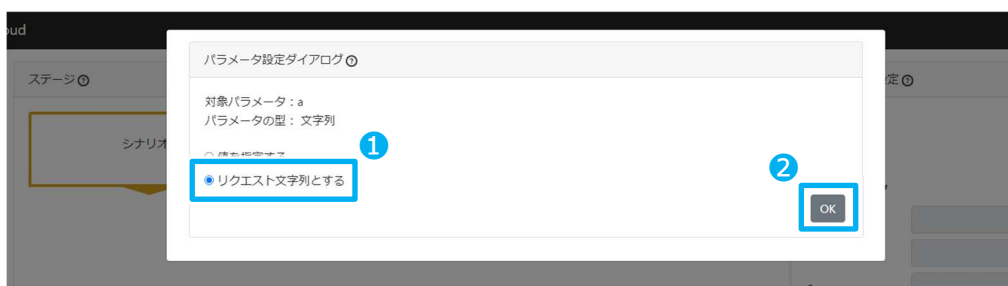
ファイル型とパスワード型の入力パラメータには、「リクエスト文字列とする」を設定することはできません。

Steps

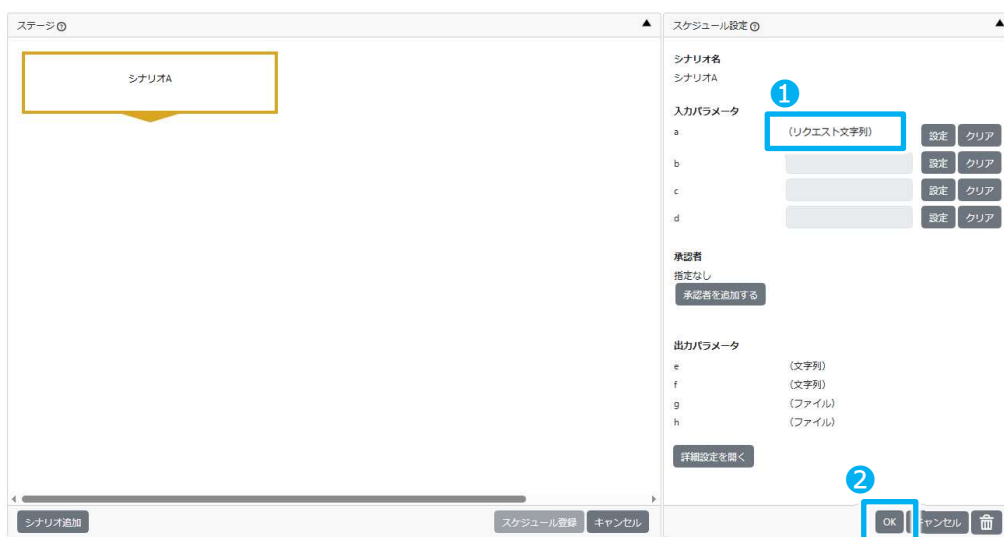
1. スケジュール設定画面の文字列型入力パラメータの「設定」をクリックします。



2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、①「リクエスト文字列とする」を選択し、② [OK] をクリックします。

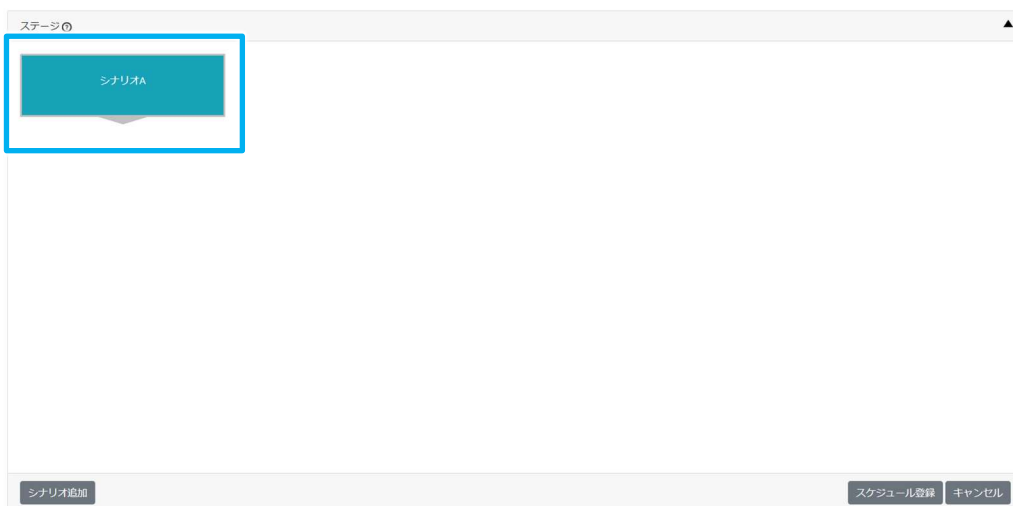


3. ①設定を行った入力パラメータに「(リクエスト文字列)」と表示されたことを確認し、② [OK] をクリックします。



入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



4.1.2 入力パラメータをリクエストファイルとして設定しよう

入力パラメータに対し、リクエストファイルとして設定する方法を説明します。

リクエストファイルと設定された入力パラメータは、スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定します。



ファイル型の入力パラメータに対してのみ、「リクエストファイルとする」を設定することができます。

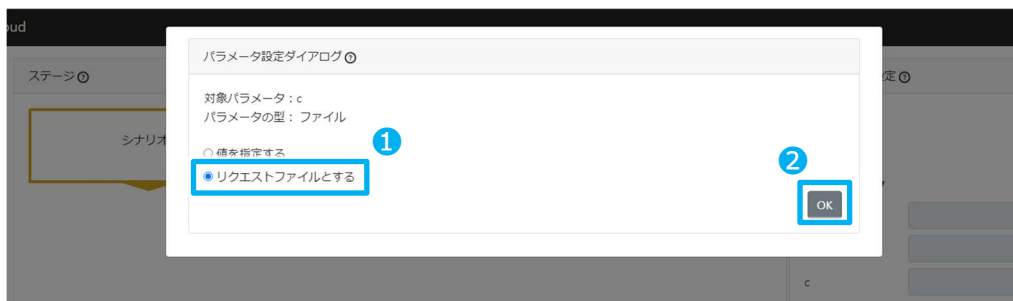
文字列型とパスワード型の入力パラメータには、「リクエストファイルとする」を設定することはできません。

Steps

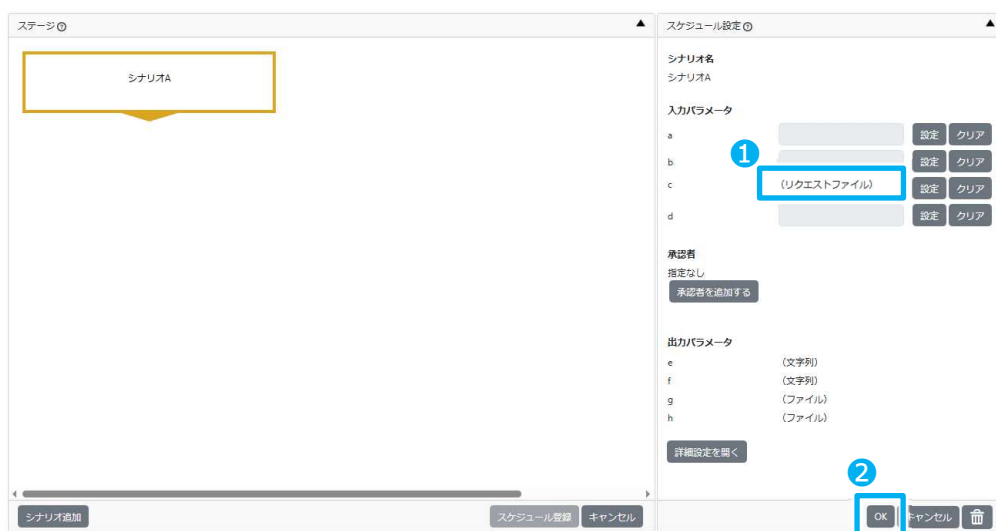
1. スケジュール設定画面のファイル型入力パラメータの「設定」をクリックします。




2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、①「リクエストファイルとする」を選択し、② [OK] をクリックします。

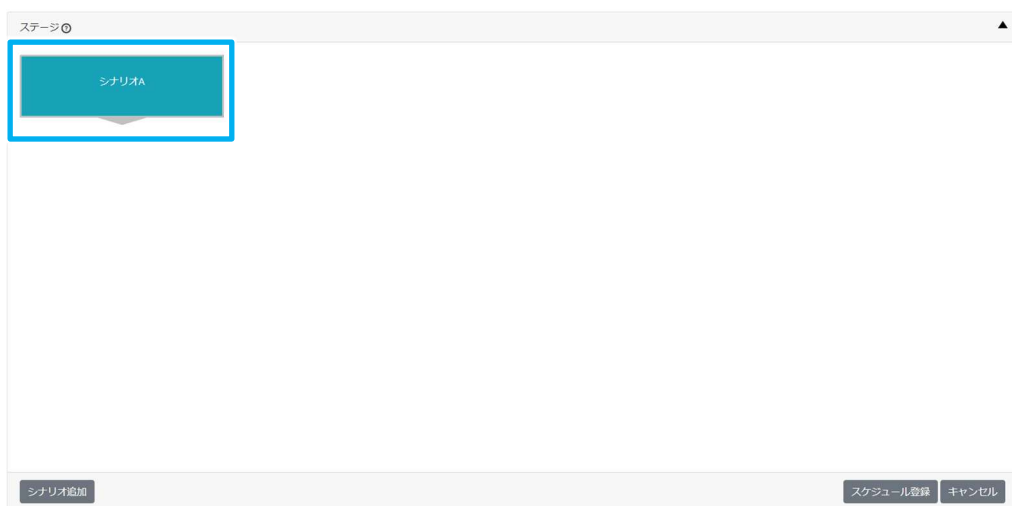


3. ①設定を行った入力パラメータに「(リクエストファイル)」と表示されたことを確認し、② [OK] をクリックします。



 入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



4.1.3 承認者を設定しよう

承認者を設定する方法を説明します。

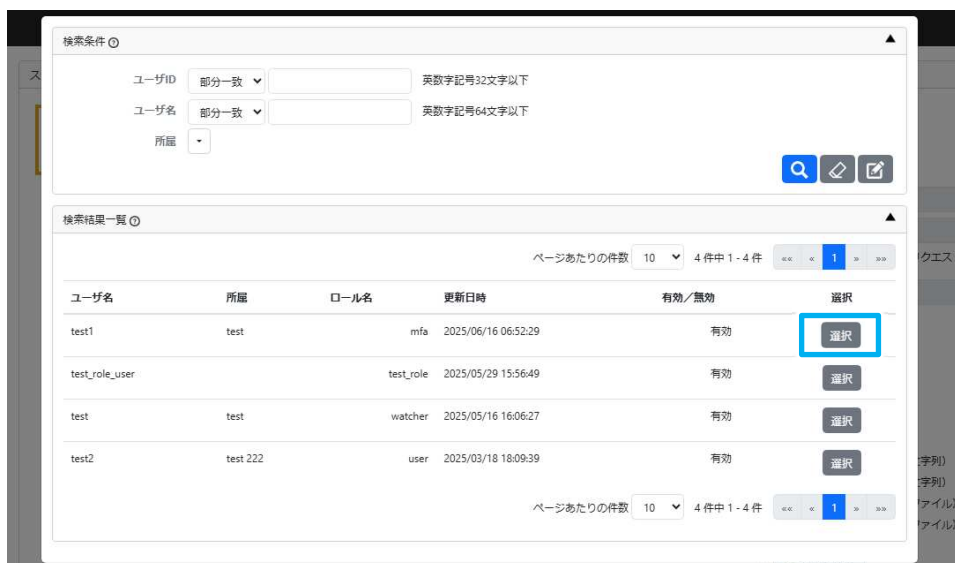
スケジュールに承認者を設定すると、そのスケジュールの実行にはその承認者からの承認が必要となります。

Steps

1. スケジュール設定画面の「承認者」の [承認者を追加する] をクリックします。



2. ユーザを選択するダイアログが表示されます。承認者としていたいユーザを選び、[選択] をクリックします。



3. ① 選択したユーザが承認者として設定されたことを確認し、② [OK] をクリックします。



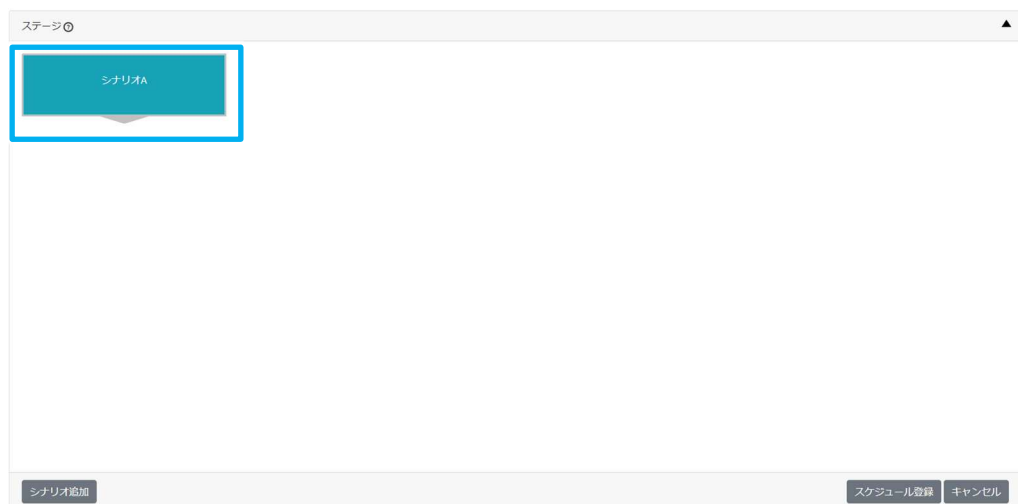
承認者は複数名設定することができます。

2人目以降の承認者を設定したい場合は、[OK]を押す前に、再度 **1** と **2** を繰り返し実施してください。



誤った承認者を選択してしまった場合は、承認者の右の [クリア] を押すとその承認者がクリアされます。

4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



4.1.4 データ一覧ファイルをリクエストファイルとして設定しよう

データ一覧ファイルに対し、リクエストファイルとして設定する方法を説明します。

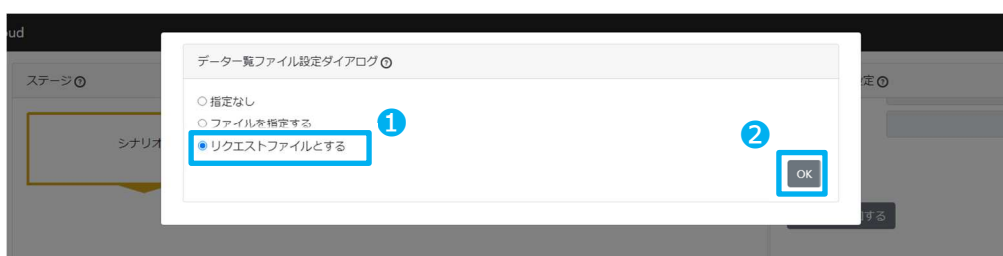
リクエストファイルと設定されたデータ一覧ファイルは、スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」をクリックし、表示された「データ一覧ファイル」の「設定」をクリックします。




2. データ一覧ファイルの設定を行うダイアログが出るので、①「リクエストファイルとする」を選択し、② [OK] をクリックします。

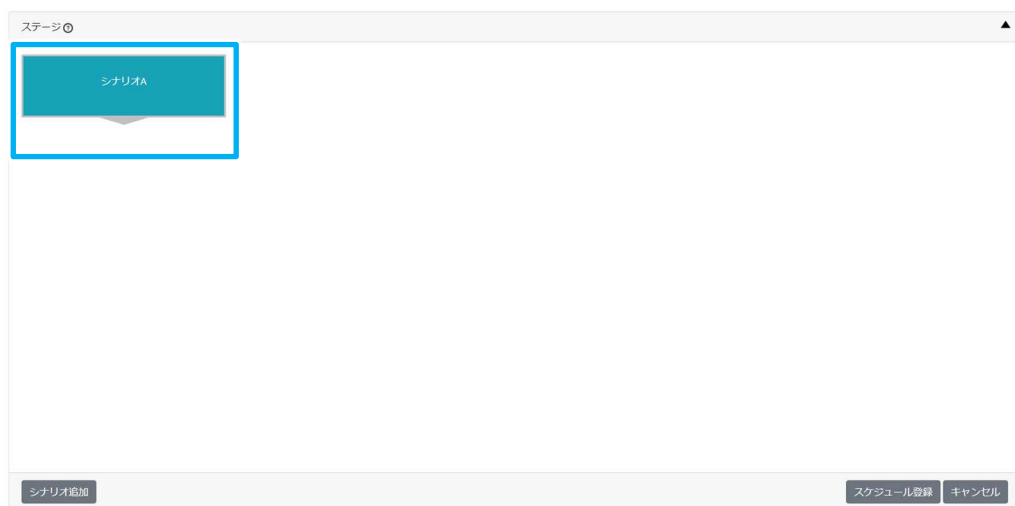


3. ① 「データ一覧ファイル」に「リクエストファイル」と表示されたことを確認し、
② [OK] をクリックします。



 データ一覧ファイルに対して誤った設定を行ってしまった場合は、データ一覧ファイルの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



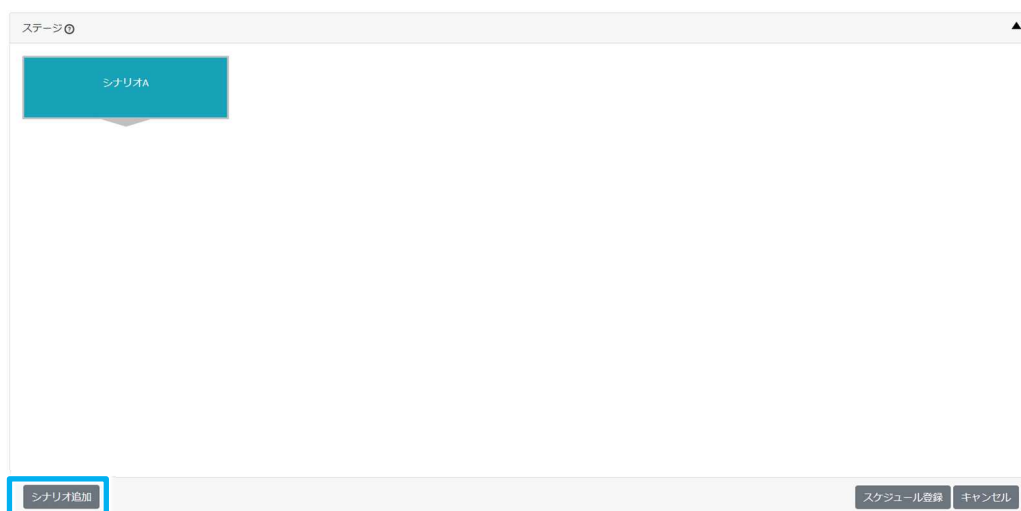
5. シナリオを並べよう

アンサンブルエディタでは 2 つ以上のシナリオをアンサンブル実行させるための設定を容易に行うことができます。

ここでは、2 つ目のシナリオを追加する方法を説明します。

Steps

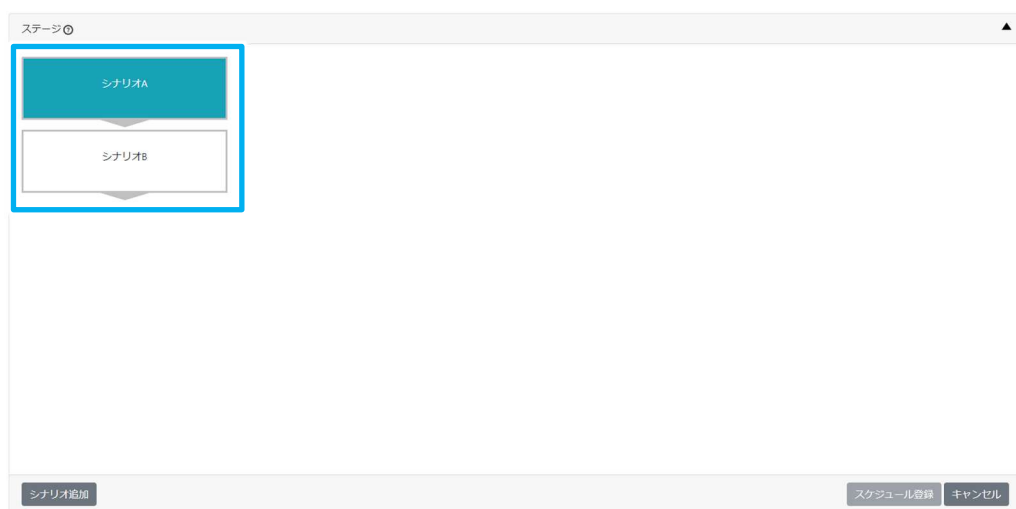
1. ステージの [シナリオ追加] をクリックします。



2. シナリオを選択するダイアログが表示されます。追加したいシナリオを選び、[選択] をクリックします。



3. ステージに選択したシナリオが追加されます。ステージには既に 1 つ目のシナリオがあるので、2 つ目のシナリオはその 1 つ目のシナリオの後ろに追加され、2 段目のシナリオとなります。



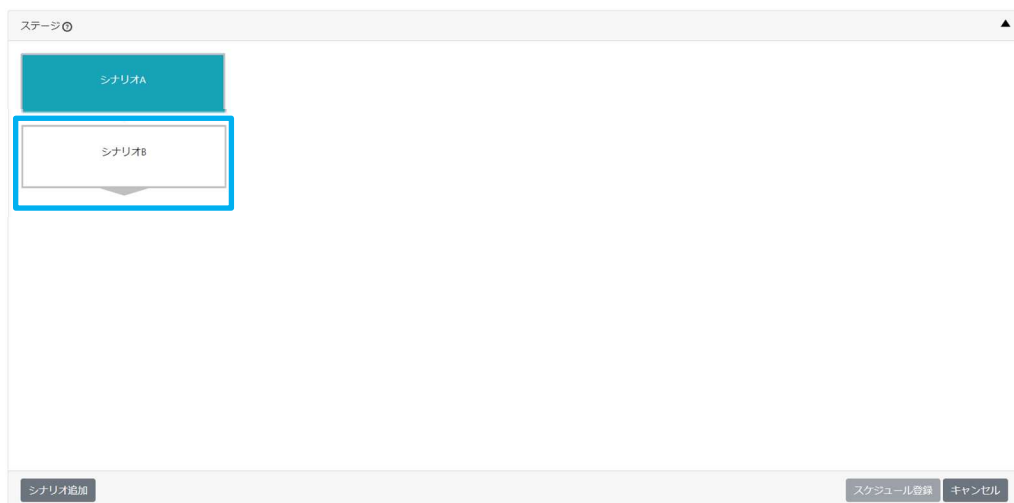
3つ目以降のシナリオを追加する場合は、再度 **1~3** を繰り返し実施してください。

6. 2 段目以降のシナリオを設定しよう

ステージ内の 2 段目以降のシナリオに対してスケジュールを設定する方法を説明します。

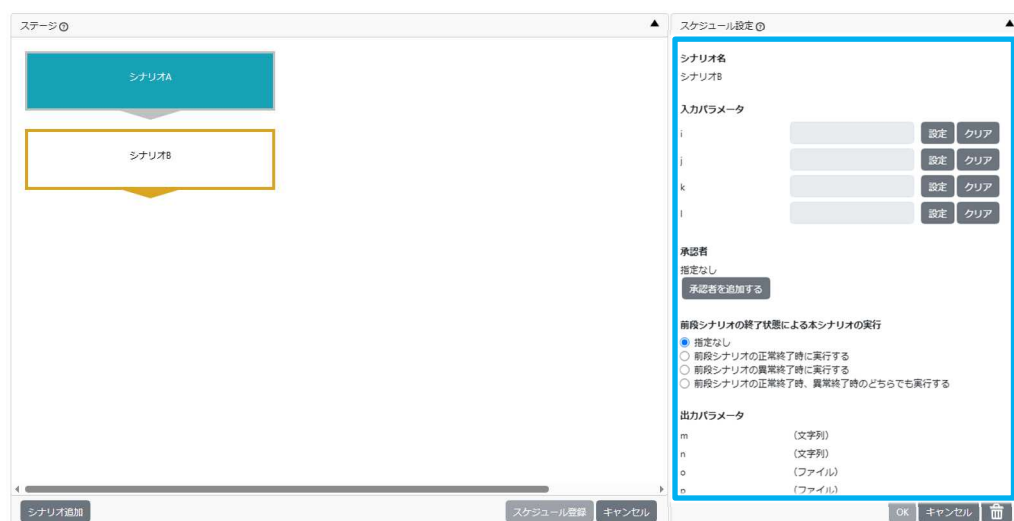
Steps

1. ステージ内のシナリオをクリックします。



2. スケジュール設定画面が開かれるので、各項目に対して設定を行います。シナリオを順に実行するために設定しなければならない項目があり、その項目を設定しなければスケジュールの設定内容を確定させることができません。

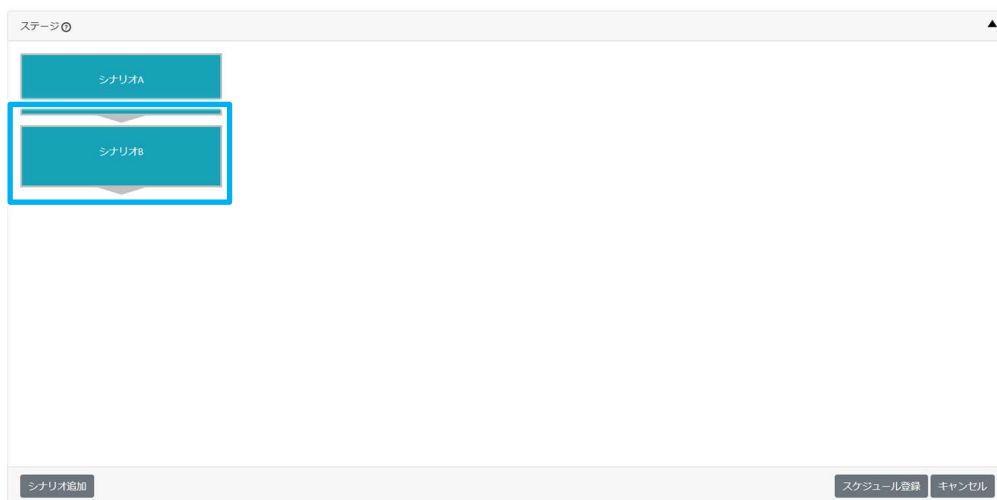
➤ ステージの 2 段目以降のシナリオで設定する項目については、『6.1 2 段目以降のシナリオの設定項目について』を参照してください。
先頭のシナリオ（『4.1 先頭のシナリオの設定項目について』参照）とは設定する項目が異なりますので、ご注意ください。



3. [OK] をクリックします。



4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



6.1 2 段目以降のシナリオの設定項目について

ステージの 2 段目以降のシナリオのスケジュール設定画面では、シナリオを順に実行するために、以下のいずれか、または複数の項目の組み合わせの設定が必要となります。

- ① 「入力パラメータ」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択
- ② 「入力パラメータ」で「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を選択
- ③ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの正常終了時に実行する」を選択
- ④ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの異常終了時に実行する」を選択
- ⑤ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する」を選択
- ⑥ 「データ一覧ファイル」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択



ただし、④、⑤は他の 4 つと組み合わせることはできません。

ここでは、上に挙げた各項目の設定方法について説明します。

➤ 「入力パラメータ」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択する方法については、『6.1.1 入力パラメータで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう』を参照してください。

➤ 「入力パラメータ」で「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を選択する方法については、『6.1.2 入力パラメータで前段シナリオのアーカイブファイルを受け取ってみよう』を参照してください。

➤ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの正常終了時に実行する」を選択する方法については、『6.1.3 正常終了したら次のシナリオを実行しよう』を参照してください。

➤ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの異常終了時に実行する」を選択する方法については、『6.1.4 異常終了したら次のシナリオを実行しよう』を参照してください。

➤ 「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で「前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する」を選択する方法については、『6.1.5 正常終了、異常終了のどちらでも次のシナリオを実行しよう』を参照してください。

➤ 「データ一覧ファイル」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を選択する方法については、『6.1.6 データ一覧ファイルで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう』を参照してください。



2 段目以降のスケジュールでは、「実行指定」を「データ駆動」以外に設定することはできません。

6.1.1 入力パラメータで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう

入力パラメータに対し、前段シナリオの出力パラメータを受け取るようにする方法を説明します。

スケジュール実行時、この設定がされた入力パラメータの値として、その前段のスケジュールの出力パラメータの値が用いられます。



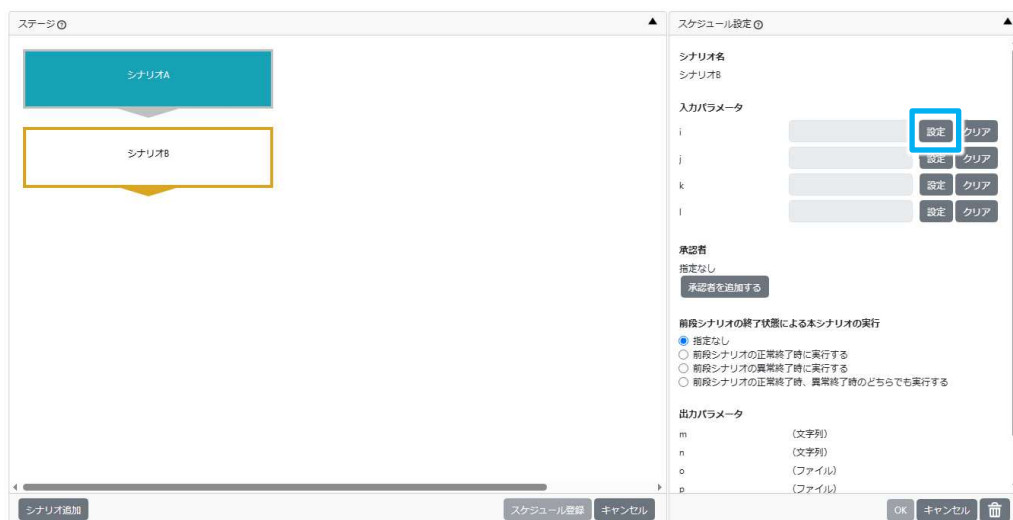
文字列型とファイル型の入力パラメータに対してのみ、「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定することができます。

パスワード型の入力パラメータには、「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定することはできません。

また、文字列型とファイル型の入力パラメータでも、前段シナリオに型が一致する出力パラメータが無ければ設定することができません。

Steps

1. スケジュール設定画面の入力パラメータの「設定」をクリックします。



2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、「前段シナリオ（[前段シナリオ名]）」の出力パラメータを受け取る」を選択します。



3. 前段シナリオに設定されている出力パラメータが表示されるので、①いずれか1つを選択し、② [OK] をクリックします。



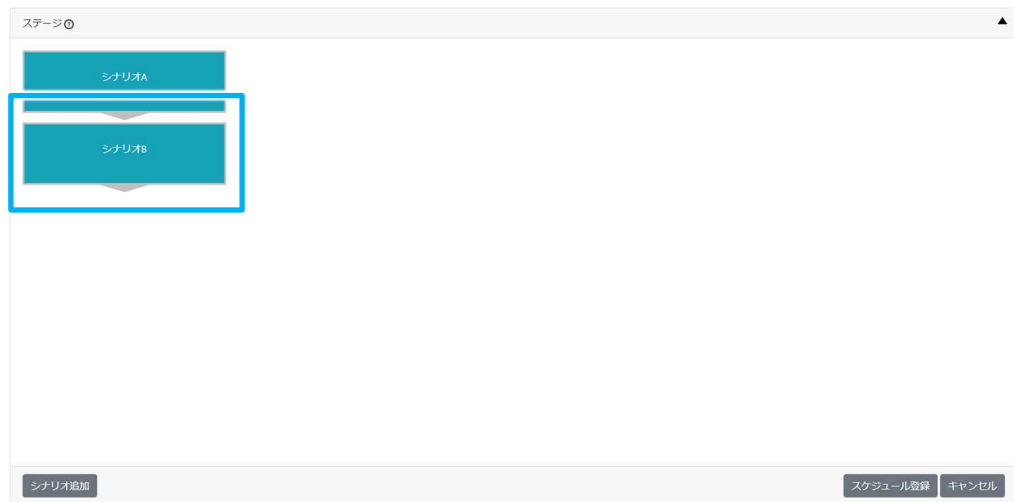
4. ①設定を行った入力パラメータに「([前段シナリオ名]:[出力パラメータ名])」と表示されたことを確認し、② [OK] をクリックします。





入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

5. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



6.1.2 入力パラメータで前段シナリオのアーカイブファイルを受け取ってみよう

入力パラメータに対し、前段シナリオのアーカイブファイルを受け取るようにする方法を説明します。

スケジュール実行時、この設定がされた入力パラメータの値として、その前段のスケジュールから出力されたアーカイブファイルが用いられます。



入力パラメータにこの設定を行う場合、前段シナリオのスケジュール設定画面でアーカイブファイルが「出力する」と設定されていることを確認してください。

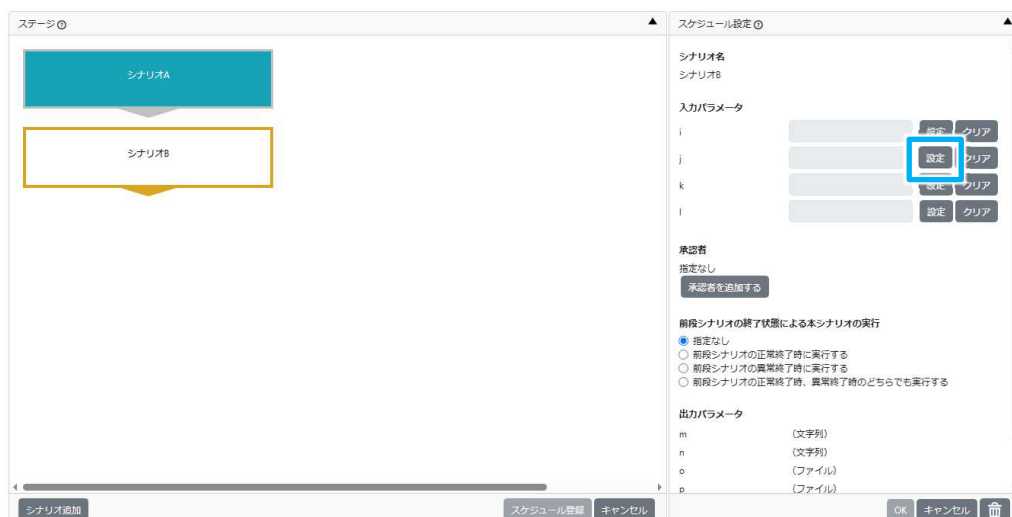


ファイル型の入力パラメータに対してのみ、「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を設定することができます。

文字列型とパスワード型の入力パラメータには、「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を設定することはできません。

Steps

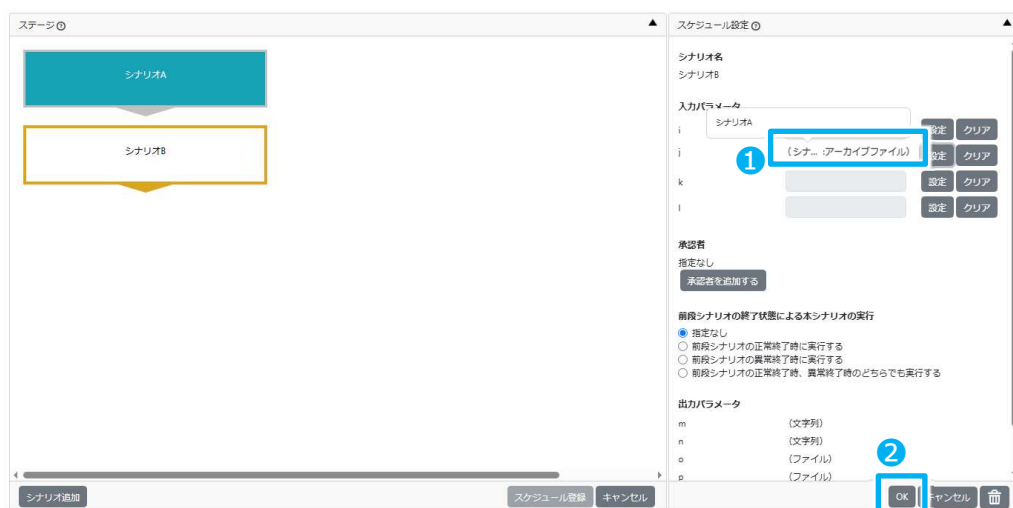
1. スケジュール設定画面のファイル型入力パラメータの「設定」をクリックします。



2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、①「前段シナリオ（[前段シナリオ名]）」のアーカイブファイルを受け取る」を選択し、② [OK] をクリックします。

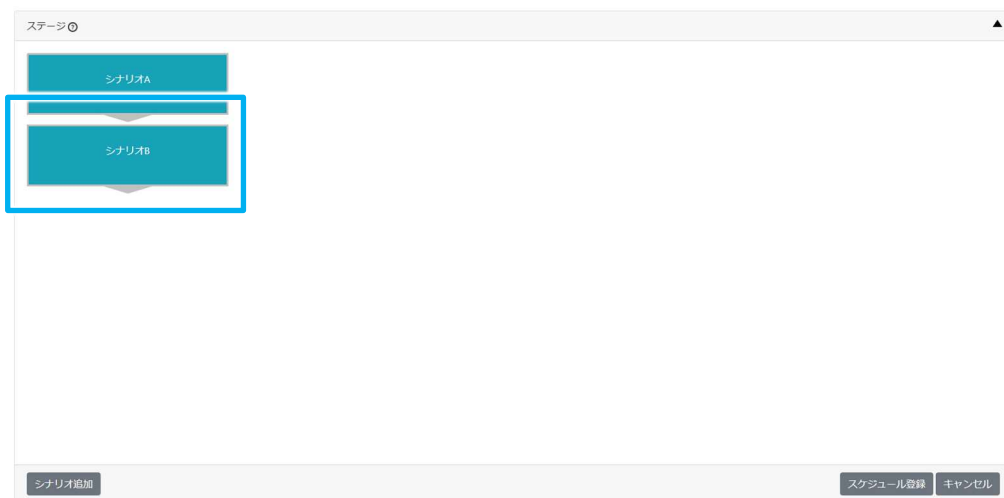


3. ①設定を行った入力パラメータに「([前段シナリオ名]:アーカイブファイル)」と表示されたことを確認し、② [OK] をクリックします。



入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。

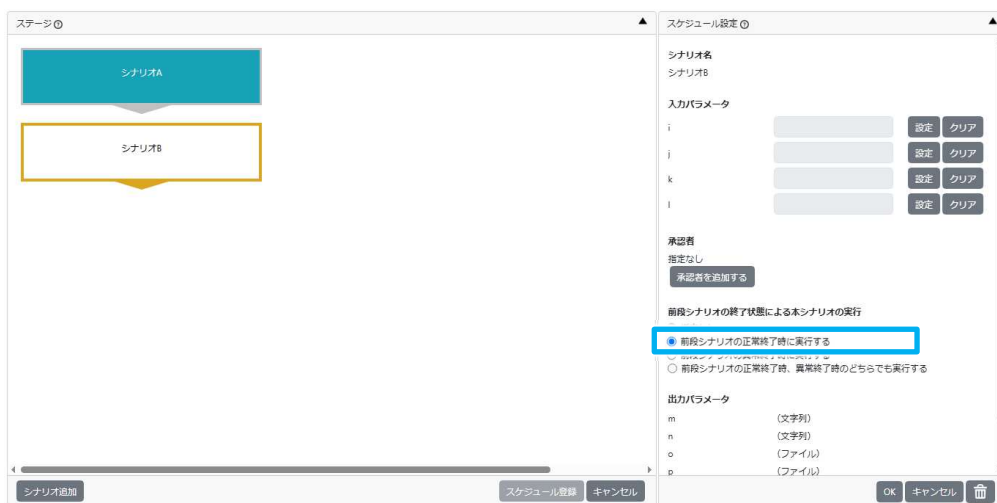


6.1.3 正常終了したら次のシナリオを実行しよう

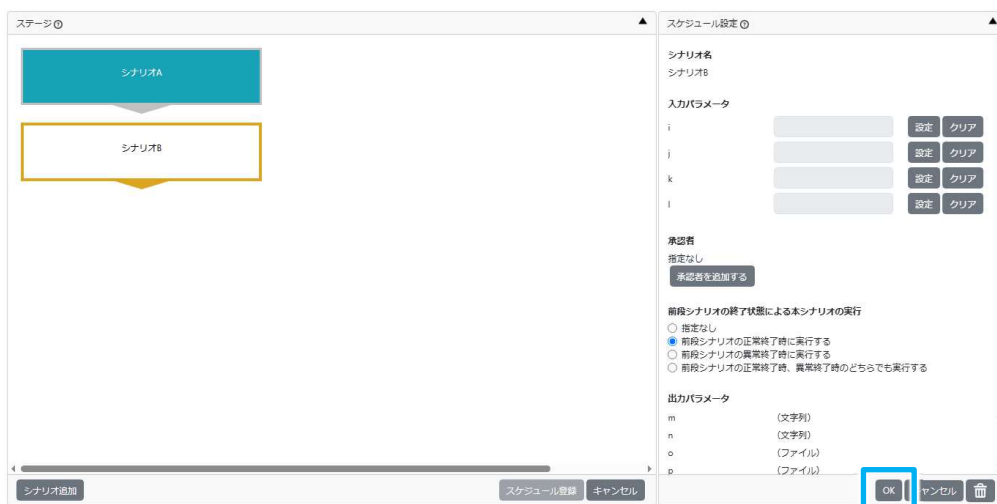
スケジュールに対して、前段のスケジュールの正常終了後に実行させる方法を説明します。この設定がされたスケジュールは、前段スケジュールが正常終了した場合でのみ実行されます。前段スケジュールが異常終了した場合は実行されません。

Steps

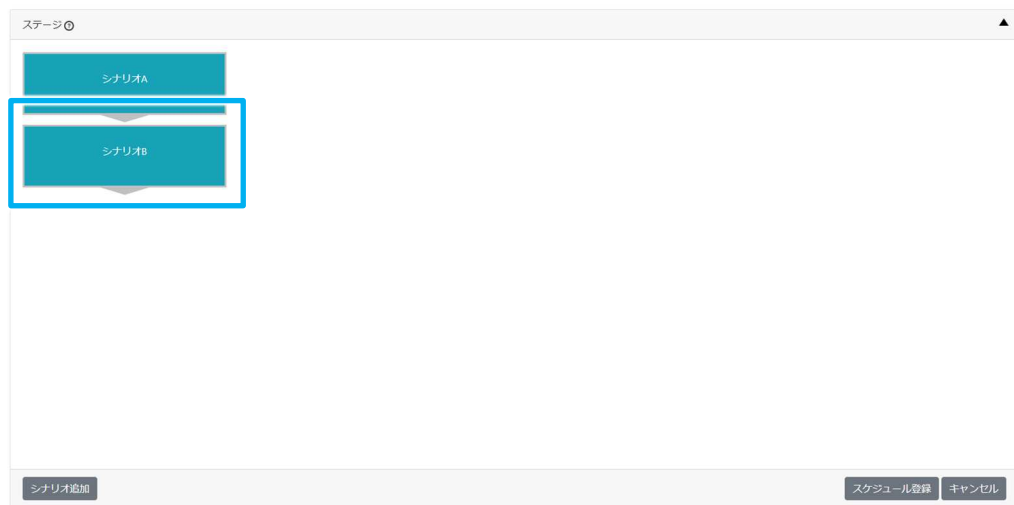
1. スケジュール設定画面の「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」から、「前段シナリオの正常終了時に実行する」を選択します。



2. [OK] をクリックします。



3. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



6.1.4 異常終了したら次のシナリオを実行しよう

スケジュールに対して、前段のスケジュールの異常終了後に実行させる方法を説明します。この設定がされたスケジュールは、前段スケジュールが異常終了した場合でのみ実行されます。前段スケジュールが正常終了した場合は実行されません。

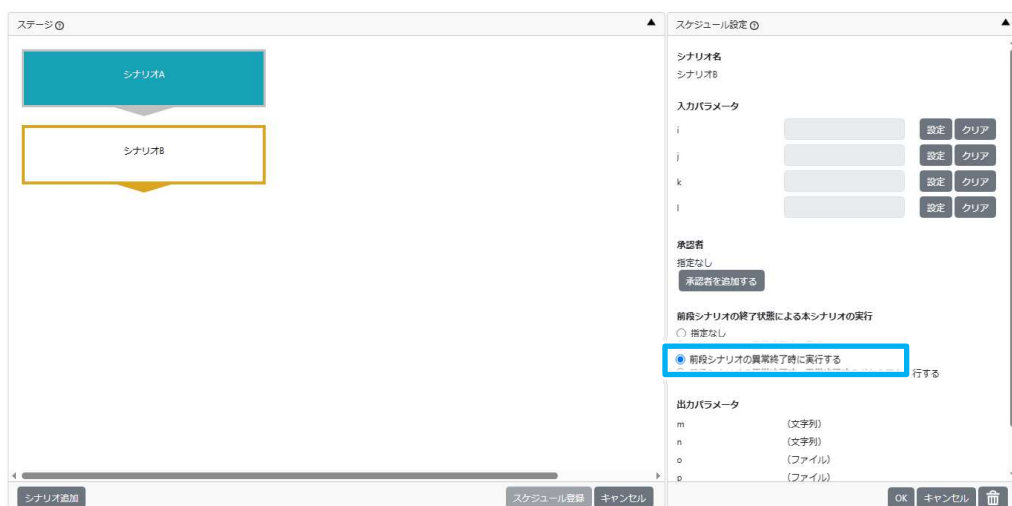


スケジュールに設定を行う場合、同じスケジュールに他に以下の設定がされている場合、スケジュール登録ができませんので、ご注意ください。

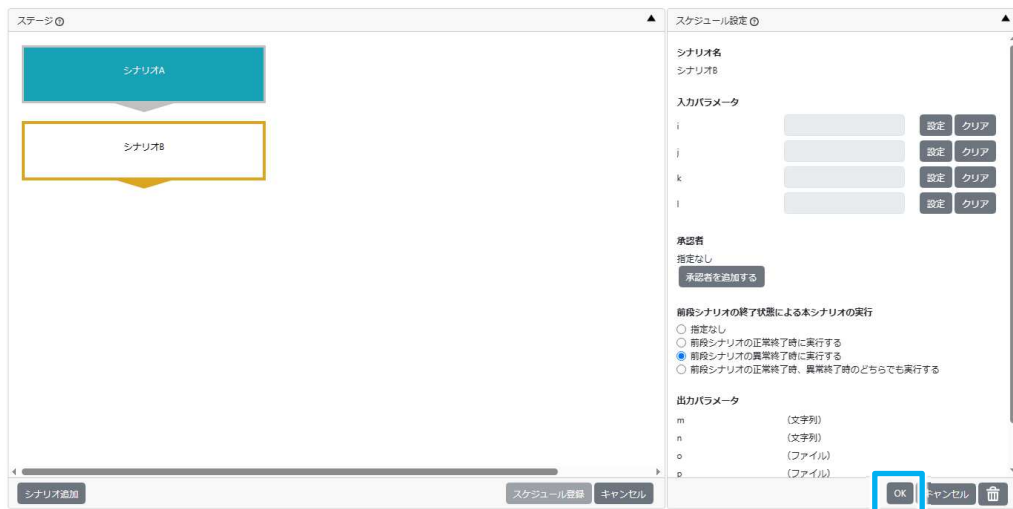
- 「入力パラメータ」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定
- 「入力パラメータ」で「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を設定
- 「データ一覧ファイル」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定

Steps

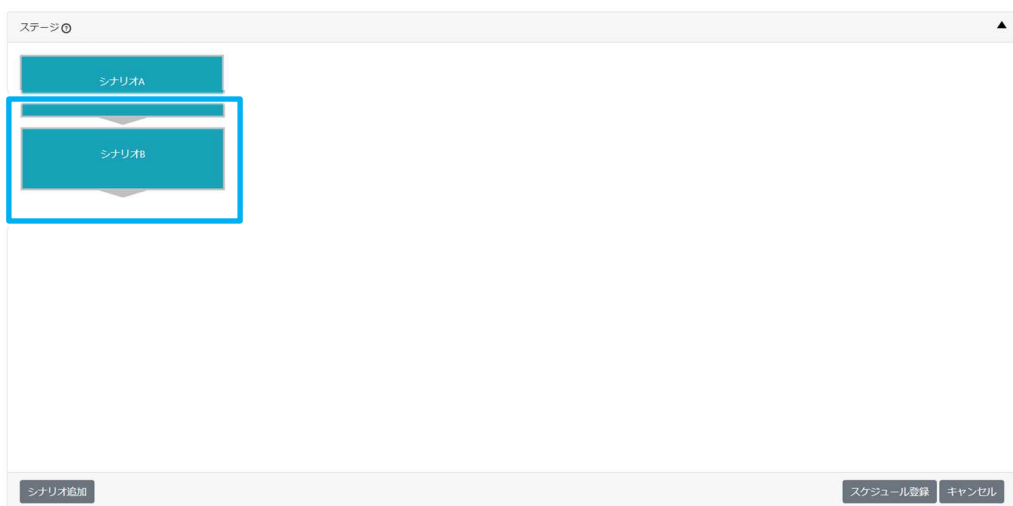
1. スケジュール設定画面の「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で、「前段シナリオの異常終了時に実行する」を選択します。



2. [OK] をクリックします。



3. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



6.1.5 正常終了、異常終了のどちらでも次のシナリオを実行しよう

スケジュールに対して、前段のスケジュールの正常終了時、異常終了後のどちらの場合でも実行させる方法を説明します。

この設定がされたスケジュールは、前段スケジュールが正常終了、異常終了のどちらでも実行されます。

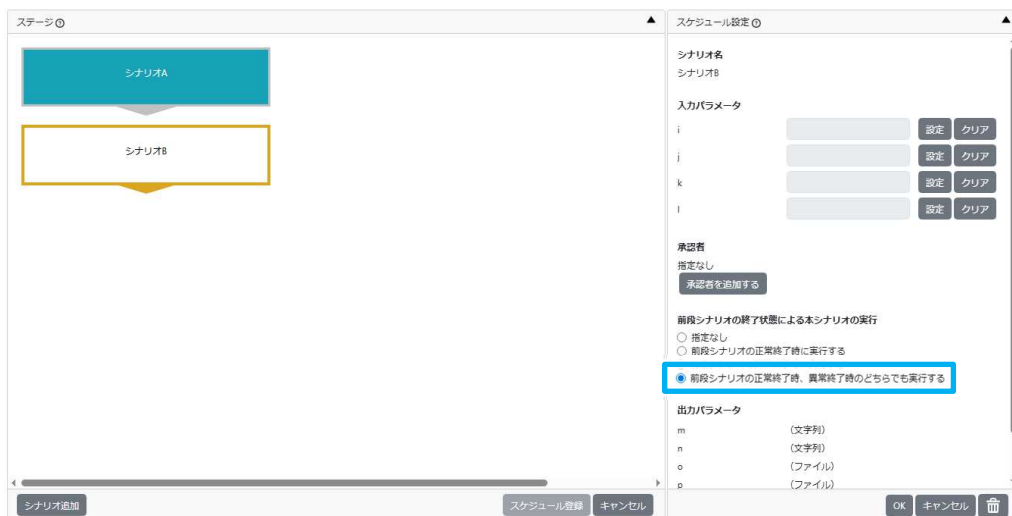


スケジュールに設定を行う場合、同じスケジュールに他に以下の設定がされている場合、スケジュール登録ができませんので、ご注意ください。

- 「入力パラメータ」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定
- 「入力パラメータ」で「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」を設定
- 「データ一覧ファイル」で「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」を設定

Steps

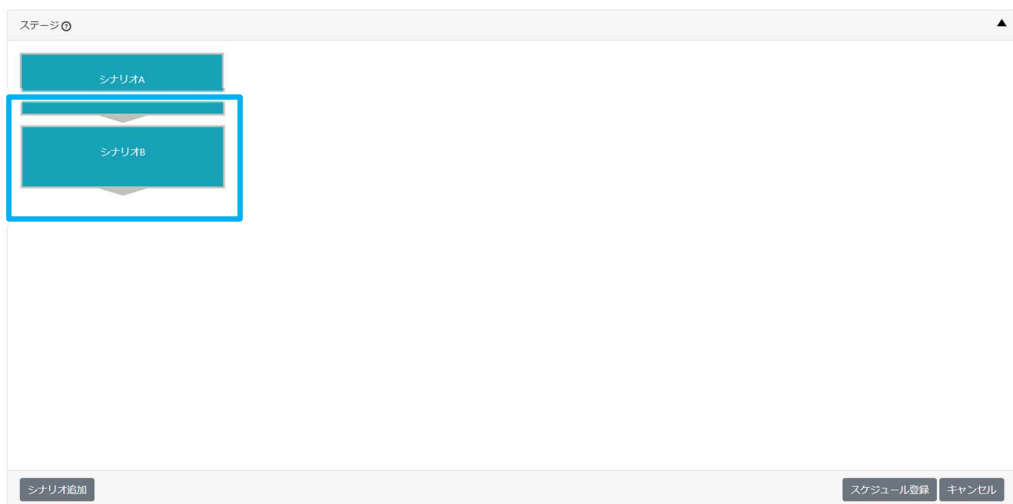
1. スケジュール設定画面の「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」で、「前段シナリオの異常終了時に実行する」を選択します。



2. [OK] をクリックします。



3. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



6.1.6 データ一覧ファイルで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう

データ一覧ファイルに対し、前段シナリオの出力パラメータを受け取るようにする方法を説明します。

スケジュール実行時、この設定がされたデータ一覧ファイルの値として、その前段のスケジュールの出力パラメータの値が用いられます。



前段シナリオにファイル型の出力パラメータが無ければ設定することができません。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」をクリックし、表示された「データ一覧ファイル」の「設定」をクリックします。



2. データ一覧ファイルの設定を行うダイアログが出るので、「前段シナリオ（[前段シナリオ名]）」の出力パラメータを受け取る」を選択します。




3. 前段シナリオに設定されている出力パラメータが表示されるので、①いずれか1つを選択し、② [OK] をクリックします。

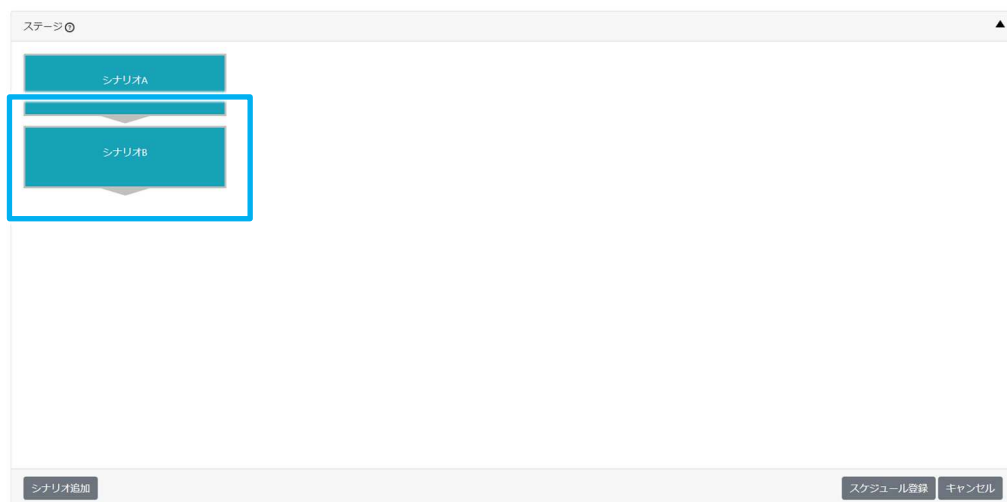


4. ① 「データ一覧ファイル」に「[前段シナリオ名]：[出力パラメータ名]」と表示されたことを確認し、② [OK] をクリックします。



 データ一覧ファイルに対して誤った設定を行ってしまった場合は、データ一覧ファイルの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

5. ステージ内のシナリオが青色に変わります。



7. シナリオを並び替えてみよう

アンサンプルエディタ画面では、ステージ内のシナリオの実行順序を簡単に変更することができます。

ここでは、シナリオの並び替え方法について説明します。

7.1 ドラッグ&ドロップでシナリオを並び替えてみよう

ステージ内のシナリオは、ドラッグ&ドロップで並び替えることができます。

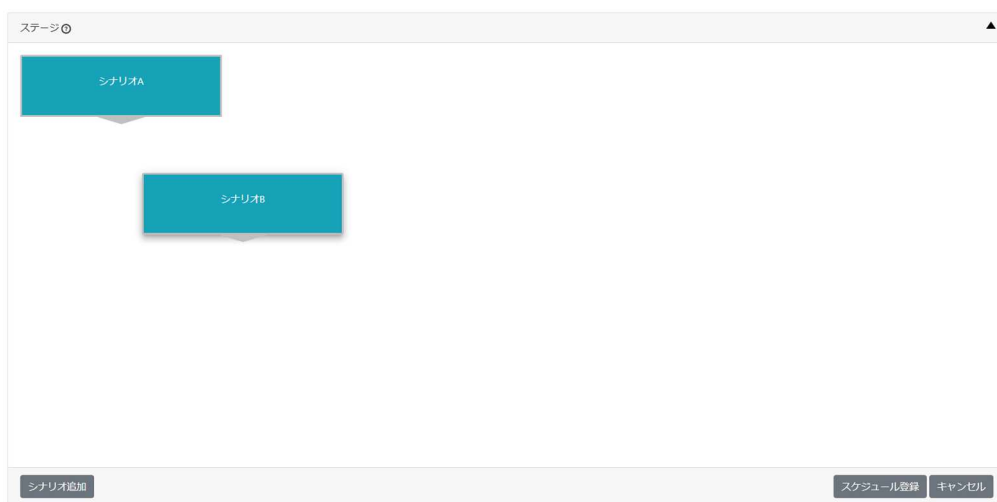


ドラッグ&ドロップで並び替えることができるシナリオは、白色のシナリオ、青色のシナリオ、赤色のシナリオの3種類です。

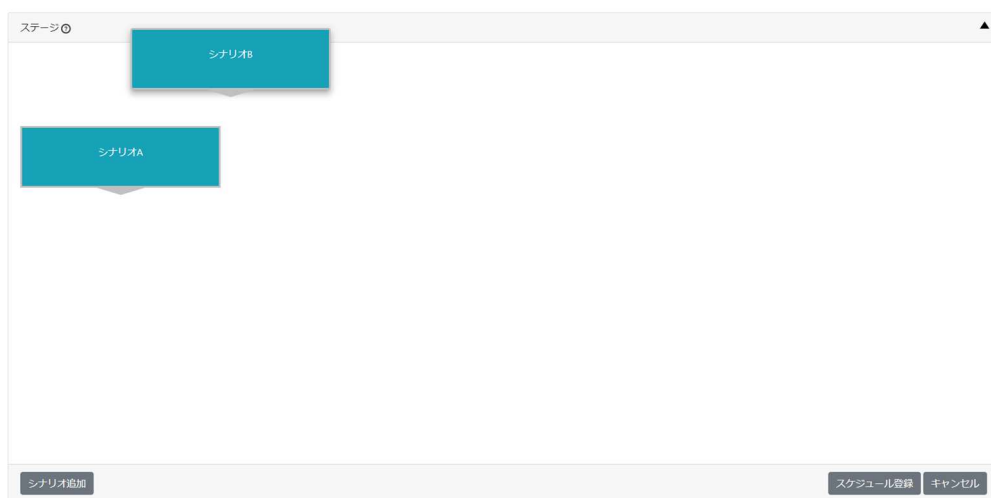
緑色のシナリオはドラッグができず、そのシナリオの前に他のシナリオをドロップすることができません。

Steps

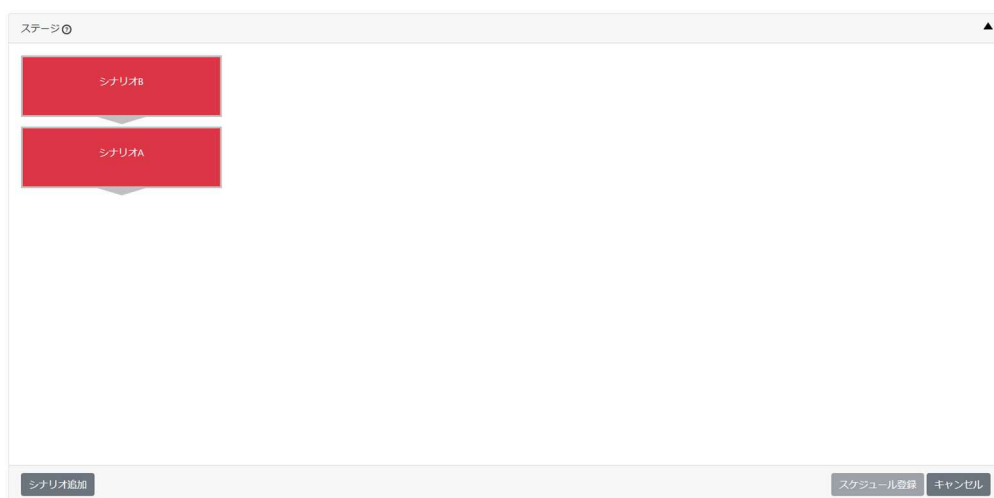
1. ステージ内のシナリオをクリックし、クリックしているボタンを長押ししながらマウスマウスカーソルを動かすと、そのシナリオがマウスカーソルに合わせて動きます（ドラッグ）。



2. ドラッグ中のシナリオを、他のシナリオの間、または先頭の位置に持っていくと、シナリオ一つ分のスペースが空きます。



3. 空いたスペースにドラッグ中のシナリオを合わせて、長押し中のボタンを離すと、ドラッグしていたシナリオをその位置に置くことができます（ドロップ）。





ステージ内で以下の位置にあったシナリオが青色の時、移動後にそれぞれのシナリオの前段シナリオが変わるため、シナリオが青色から赤色に変わります。赤色に変わったシナリオは、再度スケジュール設定が必要になります。

- ドラッグ&ドロップ操作の対象のシナリオ
- ドラッグ&ドロップ操作前、操作対象シナリオの後段だったシナリオ
- ドラッグ&ドロップ操作後、操作対象シナリオの後段になったシナリオ

>> 赤色のシナリオの再設定方法は、『7.3 赤色のシナリオの再設定を行おう』を参照してください。

<例>

ステージ内のシナリオが上から A→B→C→D→E と並んでおり、全て青色の状態、D を A と B の間にドラッグ&ドロップして、A→D→B→C→E の順番に並び替えると、以下の3つのシナリオが赤色に変化します。

- D (ドラッグ&ドロップ操作の対象のシナリオ)
 - E (ドラッグ&ドロップ操作前、操作対象シナリオの後段だったシナリオ)
 - B (ドラッグ&ドロップ操作後、操作対象シナリオの後段になったシナリオ)
-

7.2 ステージからシナリオを削除してみよう

ステージからシナリオを削除したい場合は、2通りの方法を用いることで、簡単にステージからシナリオを削除することができます。

ここでは、それぞれの方法について説明します。



削除することができるシナリオは、白色のシナリオ、青色のシナリオ、赤色のシナリオの3種類です。

緑色のシナリオは削除することができません。



ステージ内にあるシナリオが青色の時、そのシナリオの前段シナリオが削除されると、そのシナリオは青色から赤色に変わります。

赤色に変わったシナリオは、再度スケジュール設定が必要になります。

>> 赤色のシナリオの再設定方法は、『7.3 赤色のシナリオの再設定を行おう』を参照してください。

<例>

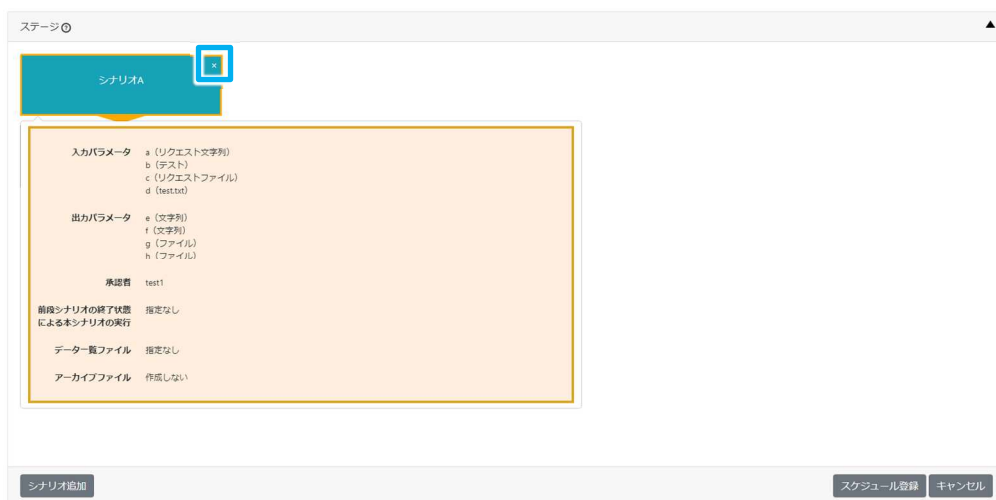
ステージ内のシナリオが上から A→B→C と並んでおり、全て青色の状態、ステージから B を削除して A→C に変わると、C のシナリオが赤色に変化します。

7.2.1 ステージのシナリオの×ボタンからシナリオを削除しよう

ステージ内のシナリオにマウスオーバーをすると、シナリオの右上に [×] ボタンが表示されます。このボタンをクリックすることで、ステージからシナリオを削除することができます。

Steps

1. ステージ内のシナリオにマウスオーバーし、[×] ボタンをクリックします。



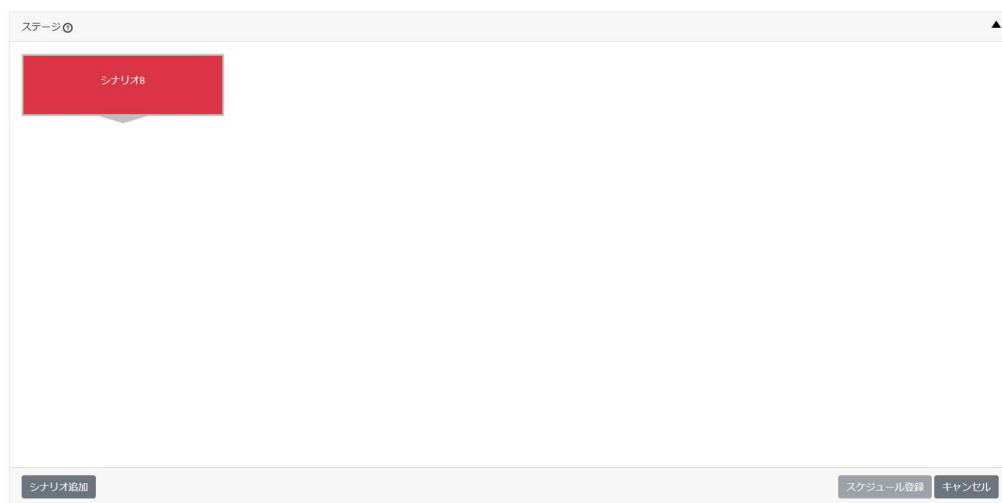
2. 確認ダイアログが出るので、[OK] ボタンをクリックします。



3. 削除完了ダイアログが出るので、[閉じる] ボタンをクリックします。



4. 削除完了ダイアログを閉じて、シナリオがステージから削除されたことを確認します。

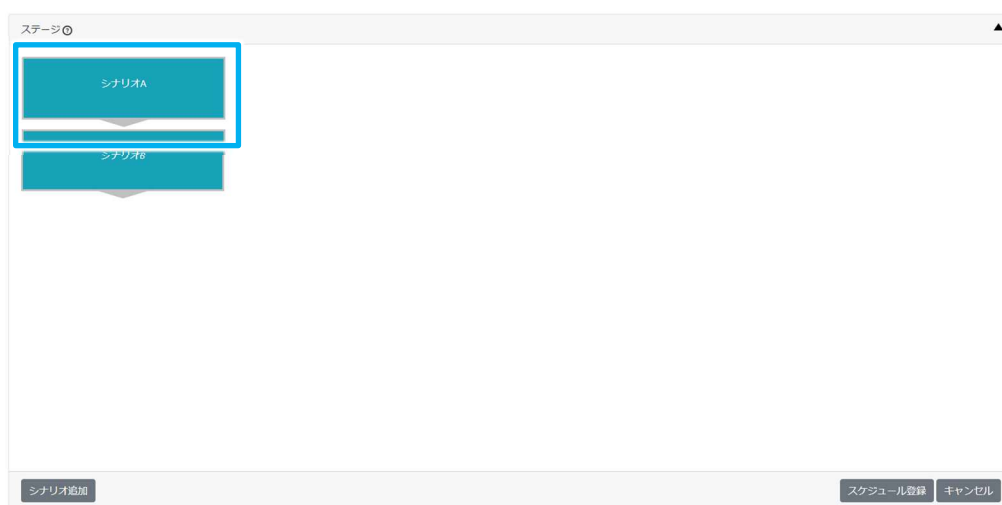


7.2.2 スケジュール設定画面の削除ボタンからシナリオを削除しよう

スケジュール設定画面の「削除」ボタンをクリックすることで、ステージからシナリオを削除することができます。

Steps

1. ステージ内のシナリオをクリックします。



2. スケジュール設定画面が開かれるので、削除ボタンをクリックします。



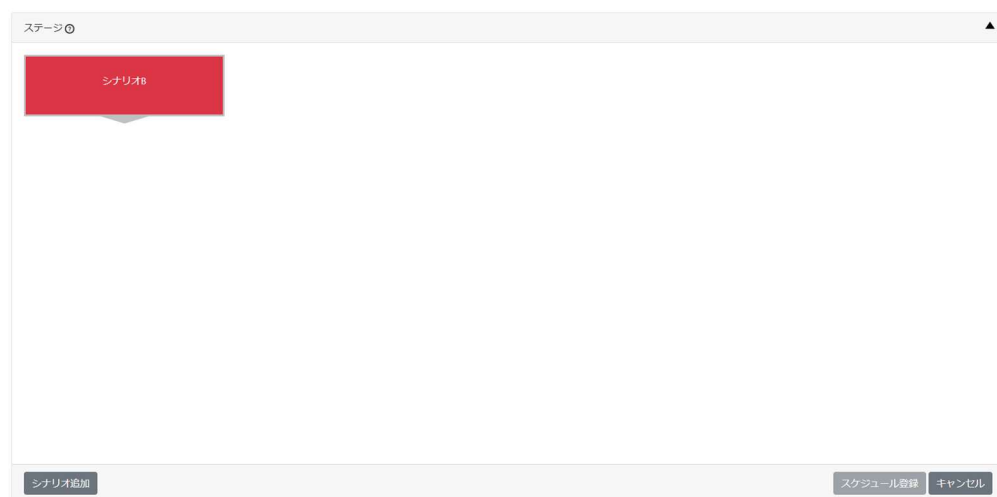
3. 確認ダイアログが出るので、[OK] ボタンをクリックします。



4. 削除完了ダイアログが出るので、[閉じる] ボタンをクリックします。



5. 削除完了ダイアログを閉じて、シナリオがステージから削除されたことを確認します。

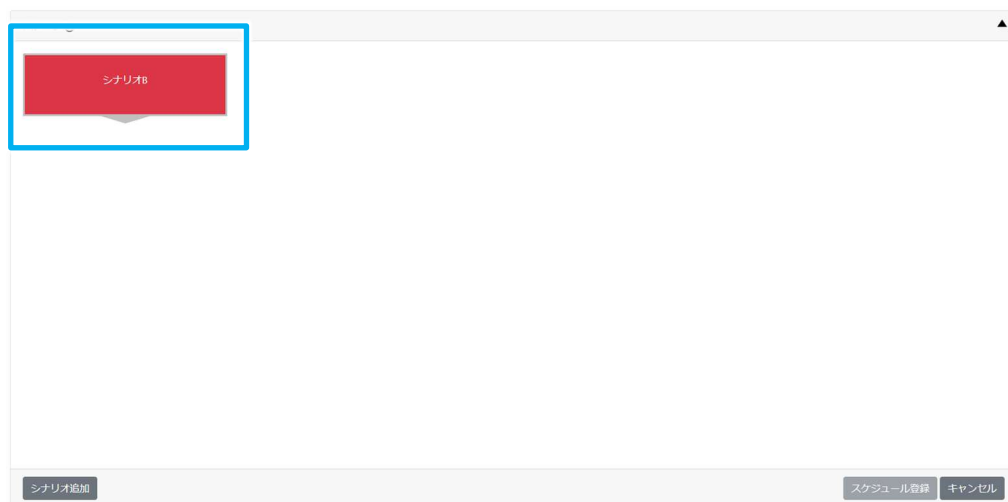


7.3 赤色のシナリオの再設定を行おう

シナリオの順番が変わると、シナリオの色が赤色に変わる場合があります。赤色に変わったシナリオは再度スケジュールの設定が必要になります。

Steps

1. ステージ内の赤色のシナリオをクリックします。



2. スケジュール設定画面を開き、再度スケジュールの設定を行います。シナリオの必須項目の設定を行ってください。また、赤色の項目が表示された場合は、その項目への設定を行ってください。

➤ 先頭シナリオの必須項目については、『4.1 先頭のシナリオの設定項目について』を参照してください。

➤ 2 段目以降のシナリオの必須項目については、『6.1 2 段目以降のシナリオの設定項目について』を参照してください。



スケジュール設定画面に赤色の項目が一つでもある場合は、スケジュール設定画面の [OK] ボタンを押すことができません。

赤色の項目へ設定を行うと、項目が黒色に戻ります。詳細設定内にも赤色の項目がある場合は、その項目の修正も必要になります。

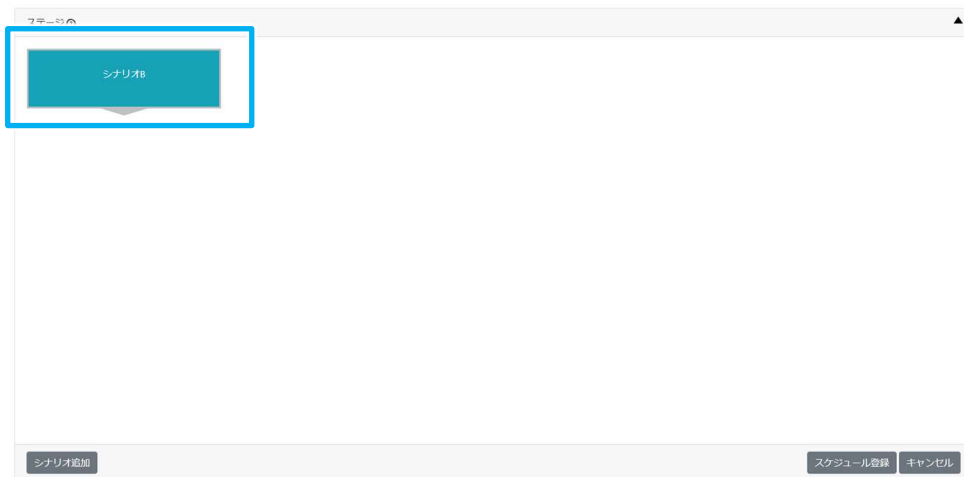
入力パラメータもしくはデータ一覧ファイルで、「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」のような前段シナリオを参照する設定を行っていた場合、その前段シナリオが削除されるなどで参照できなくなってしまった場合、項目が赤色に変化します。



3. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。



4. ステージ内のシナリオが青色に変わります。

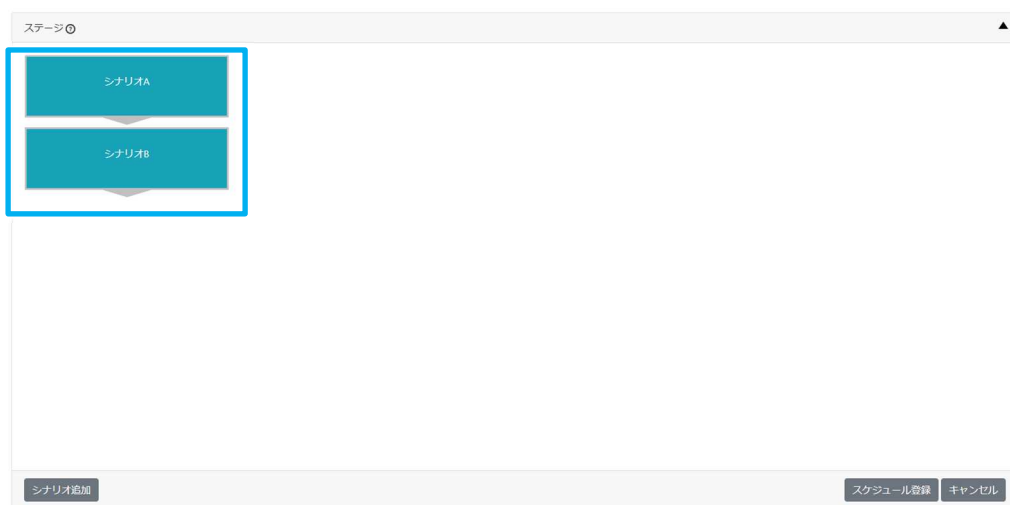


8. スケジュールを登録しよう

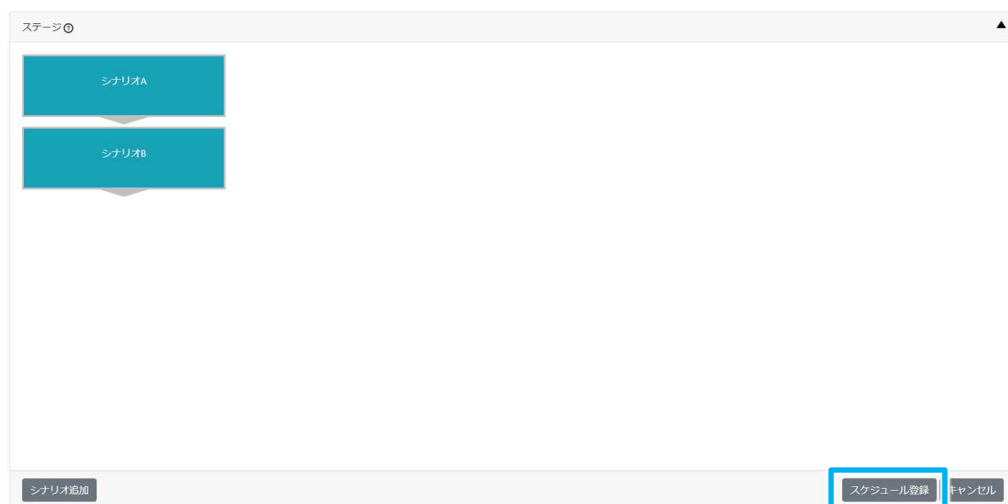
ステージ内のすべてのシナリオのスケジュール設定が完了すると、ステージ内のシナリオのスケジュール登録が可能になります。

Steps

1. ステージ内のすべてシナリオのスケジュール設定を完了させ、全てのシナリオが青色となっている状態とします。



2. ステージの [スケジュール登録] ボタンをクリックします。



[スケジュール登録] ボタンは、ステージ内に赤色と白色のシナリオが含まれている場合はクリックできません。

3. 登録完了ダイアログが表示されます。ダイアログの後ろでステージのシナリオが全て緑色に変わり、ダイアログのメッセージが「スケジュールの登録が完了しました。」であればスケジュール登録成功です。



「入力に誤りがあります。」というメッセージが含まれるダイアログが出た場合は、エラーが発生したシナリオ以降は緑色にならず、青色のままとなります。以下のような設定がされていると、スケジュール登録に失敗する場合がありますのでご注意ください。

<例>

- 先頭シナリオのスケジュール設定画面において、実行指定で「条件指定」を選択し、誤った cron 式を設定した場合
(例：開始日時で、終了日時よりも後の日付を指定する)
- スケジュール設定画面で指定した所属と、選択した承認者やファイルに設定されている所属が異なる場合
- 先頭以外のスケジュール設定画面において、「前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行」項目で「前段シナリオの異常終了時に実行する」または「前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する」を設定し、さらに以下のいずれかの設定を加えた場合
 - 入力パラメータ 「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」
 - 入力パラメータ 「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」
 - データ一覧ファイル 「前段シナリオの出力パラメータを受け取る」
- 2つ以上連続しているシナリオで、前段シナリオのスケジュール設定画面ではアーカイブファイルで「出力しない」、後段シナリオのスケジュール設定画面では入力パラメータで「前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る」と設定した場合



スケジュールの登録に失敗したとき、そのスケジュールの登録に成功するまでの間に前段スケジュールが実行終了してしまいますと、そのスケジュールは登録されても実行されませんので、ご注意ください。

- 登録完了ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックします。
クリックすると、進捗画面に戻ります。



9. その他の操作

ここまでは、アンサンブルエディタを使用するにあたって最低限必要な設定と重要な操作を紹介しました。

その他にも、アンサンブルエディタには様々な便利な機能が備わっております。

9.1 入力パラメータを設定しよう

スケジュール設定画面では、入力パラメータに対して様々な値を設定することができます。



シナリオ登録時に、入力パラメータに対して「必須」の設定を行っていた場合、スケジュール設定画面ではその入力パラメータへの設定が必須となります。

必須の項目は、赤色の文字で表示されます。赤色の項目が一つでも残っている場合は、[OK] ボタンをクリックすることができません。設定が行われると、項目が黒文字に戻ります。

スケジュール設定

シナリオ名
C

入力パラメータ

a_in		設定	クリア
b_in	あああ	設定	クリア
c_in		設定	クリア
d_in	いいいい	設定	クリア
e_in		設定	クリア
f_in	CCCC.txt	設定	クリア
g_in		設定	クリア
h_in	DDDD.txt	設定	クリア
i_in		設定	クリア
j_in		設定	クリア

承認者
指定なし

OK キャンセル

9.1.1 文字列型の入力パラメータを設定しよう

文字列型入力パラメータの設定方法は以下の通りです。

Steps

1. スケジュール設定画面の文字列型入力パラメータの「設定」をクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

i	<input type="text"/>	設定	クリア
j	<input type="text"/>	設定	クリア
k	<input type="text"/>	設定	クリア
l	<input type="text"/>	設定	クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する




出力パラメータ

m	(文字列)
n	(文字列)
o	(ファイル)
p	(ファイル)

OK キャンセル 削除

2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、設定したい項目を選択します。ダイアログ内の各項目の概要については以下の表を参照してください。

表 9.1-1 パラメータ設定ダイアログ (文字列) の各項目

項目名	概要
値を指定する	直接値を指定する場合に指定します。 入力パラメータに省略値が指定されている場合は、その省略値が初期設定されます。
リクエスト文字列とする	スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式と する場合に指定します。  詳しい設定方法は、『4.1.1 入力パラメータをリクエスト文字列として設定しよう』も参照してください。
前段シナリオの出力パラメータを受け取る	スケジュール実行時に、前段シナリオの出力パラメータの 値を受け取ります。この項目を選択すると、前段シナリオ の出力パラメータを選択するラジオボタンが表示されま す。  前段のシナリオが文字列型の出力パラメータを 持っている場合に選択できます。また、先頭のシ ナリオでは選択することはできません。  詳しい設定方法は、『6.1.1 入力パラメータで前段シナ リオの出力パラメータを受け取ってみよう』も参照し てください。

3. [OK] をクリックします。

パラメータ設定ダイアログ

対象パラメータ: i
パラメータの型: 文字列

値を指定する

テスト文字列 10000文字以下

リクエスト文字列とする

前段シナリオ (シナリオA) の出力パラメータを受け取る

OK

4. 入力パラメータに設定内容が反映されます。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

i	テスト文字列	設定	クリア
j		設定	クリア
k		設定	クリア
l		設定	クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

m	(文字列)
n	(文字列)
o	(ファイル)
p	(ファイル)

OK キャンセル



入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

9.1.2 ファイル型の入力パラメータを設定しよう

ファイル型入力パラメータの設定方法は以下の通りです。

Steps

1. スケジュール設定画面のファイル型入力パラメータの「設定」をクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

i	<input type="text"/>	設定	クリア
j	<input type="text"/>	設定	クリア
k	<input type="text"/>	設定	クリア
l	<input type="text"/>	設定	クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

- 指定なし
- 前段シナリオの正常終了時に実行する
- 前段シナリオの異常終了時に実行する
- 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

m	(文字列)
n	(文字列)
o	(ファイル)
p	(ファイル)

OK キャンセル

2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、設定したい項目を選択します。ダイアログ内の各項目の概要については以下の表を参照してください。






パラメータ設定ダイアログ

対象パラメータ: j
パラメータの型: ファイル

- 値を指定する
 参照
- リクエストファイルとする
- 前段シナリオ (シナリオA) の出力パラメータを受け取る
- 前段シナリオ (シナリオA) のアーカイブファイルを受け取る

OK

表 9.1-2 パラメータ設定ダイアログ（ファイル）の各項目

項目名	概要
値を指定する	<p>直接値を指定する場合に指定します。</p> <p>入力パラメータに省略値が指定されている場合は、その省略値が初期設定されます。</p> <p>参照ボタンをクリックすると、ファイルを選択するダイアログが表示され、選択したファイルが値として設定されます。</p>
リクエストファイルとする	<p>スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式とする場合に指定します。</p> <p> 詳しい設定方法は、『4.1.2 入力パラメータをリクエストファイルとして設定しよう』も参照してください。</p>
前段シナリオの出力パラメータを受け取る	<p>スケジュール実行時に、前段シナリオの出力パラメータの値を受け取ります。この項目を選択すると、前段シナリオの出力パラメータを選択するラジオボタンが表示されます。</p> <p> 前段のシナリオがファイル型の出力パラメータを持っている場合に選択できます。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。</p> <p> 詳しい設定方法は、『6.1.1 入力パラメータで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう』も参照してください。</p>
前段シナリオのアーカイブファイルを受け取る	<p>スケジュール実行時に、前段シナリオで出力されたアーカイブファイルを受け取ります。</p> <p> 前段のシナリオがアーカイブファイルを出力する設定になっているか確認してください。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。</p> <p> 詳しい設定方法は、『6.1.2 入力パラメータで前段シナリオのアーカイブファイルを受け取ってみよう』も参照してください。</p>

3. [OK] をクリックします。



4. 入力パラメータに設定内容が反映されます。



入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

9.1.3 パスワード型の入力パラメータを設定しよう

パスワード型入力パラメータの設定方法は以下の通りです。

Steps

1. スケジュール設定画面のパスワード型入力パラメータの[設定]をクリックします。

2. パラメータの設定を行うダイアログが出るので、設定したい項目を選択します。ダイアログ内の各項目の概要については以下の表を参照してください。

表 9.1-3 パラメータ設定ダイアログ (パスワード) の各項目

項目名	概要
値を指定する	直接値を指定する場合に指定します。入力した文字列はマスク表示されます。

項目名	概要
パスワード型パラメータの入力内容を表示する	「値を指定する」の入力ボックスのマスクを外して入力文字列を画面表示します。

3. 文字列を設定します。

パラメータ設定ダイアログ

対象パラメータ: k
パラメータの型: パスワード

値を指定する
..... 10000文字以下

パスワード型パラメータの入力内容を表示する

OK

4. 内容を確認したい場合は [パスワード型パラメータの入力内容を表示する] をクリックします。

パラメータ設定ダイアログ

対象パラメータ: k
パラメータの型: パスワード

値を指定する
PASSWORD 10000文字以下

パスワード型パラメータの入力内容を表示する

OK

5. [OK] をクリックします。

パラメータ設定ダイアログ

対象パラメータ: k
パラメータの型: パスワード

値を指定する
..... 10000文字以下

パスワード型パラメータの入力内容を表示する

OK

6. 入力パラメータに設定内容が反映されます。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

i 設定 クリア

j 設定 クリア

k 設定 クリア

パスワード型パラメータの入力内容を表示する

承認者
指定なし
承認者を追加する

出力パラメータ

m (文字列)

n (文字列)

o (ファイル)

p (ファイル)

詳細設定を開く

OK キャンセル

7. 内容を確認したい場合は「パスワード型パラメータの入力内容を表示する」をクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

i 設定 クリア

j 設定 クリア

k PASSWORD 設定 クリア

パスワード型パラメータの入力内容を表示する

承認者
指定なし
承認者を追加する

出力パラメータ

m (文字列)

n (文字列)

o (ファイル)

p (ファイル)

詳細設定を開く

OK キャンセル



入力パラメータに対して誤った設定を行ってしまった場合は、入力パラメータの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

9.2 詳細設定を行おう

スケジュール設定画面の「詳細設定」内の項目は、編集を行わなくてもスケジュールの設定を行うことができますが、便利な設定を行うことができます。

>> 詳細設定の項目は、『2.3 スケジュール設定の構成要素』を参照してください。

9.2.1 スケジュール名を変更しよう

スケジュールの名前を変更することができます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] [設定] [クリア]

B [] [設定] [クリア]

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル []

2. 「スケジュール名」の項目が表示されます。設定したいスケジュール名を 64 名以下で入力してください。

スケジュール設定

詳細設定を閉じる

スケジュール名
シナリオB 64文字以下

所属
共有

データ一覧ファイル
指定なし 設定 クリア

WinActor
指定なし
シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定
データ駆動

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

OK キャンセル



初期状態は、シナリオ名と同じ文字列が既に入力されている状態となります。
また、空欄を指定することができません。

9.2.2 所属を設定しよう

スケジュール設定画面では、そのスケジュールに対して所属を設定することができます。



ステージ内のシナリオに対してスケジュール設定を行う際は、全てのスケジュールが同一の所属になるように設定してください。

また、シナリオに設定されている所属より下位の所属をスケジュールに設定して登録することはできません。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 「所属」の項目が表示されます。プルダウンから設定したい所属を選択します。

スケジュール設定

詳細設定を閉じる

スケジュール名
シナリオB 64文字以下

所属
共有

データ一覧ファイル
指定なし 設定 クリア

WinActor
指定なし
シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定
データ駆動

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

OK キャンセル



初期状態は、シナリオに設定されている所属が既に選択されている状態となります。

9.2.3 データ一覧ファイルを設定しよう

データ一覧ファイルに対して様々な値を設定することができます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 「データ一覧ファイル」の項目が表示されます。[設定] をクリックします。






3. データ一覧ファイルの設定を行うダイアログが出るので、設定したい項目を選択します。ダイアログ内の各項目の概要については以下の表を参照してください。



表 9.2-1 データ一覧ファイル設定ダイアログの各項目

項目名	概要
指定なし	データ一覧ファイルを指定せずにスケジュールを実行する場合に指定します。
ファイルを指定する	指定したデータ一覧ファイルを用いてスケジュールを実行する場合に指定します。 参照ボタンをクリックすると、ファイルを選択するダイアログが表示され、選択したファイルが値として設定されます。

項目名	概要
リクエストファイルとする	<p>スケジュール実行時に進捗画面上で値を設定する方式とする場合に指定します。</p> <p> 詳しい設定方法は、『4.1.4 データ一覧ファイルをリクエストファイルとして設定しよう』も参照してください。</p>
前段シナリオの出力パラメータを受け取る	<p>前段シナリオの出力パラメータの値を、このシナリオのデータ一覧ファイルとする場合に指定します。この項目を選択すると、前段シナリオの出力パラメータを選択するラジオボタンが表示されます。</p> <p> 前段のシナリオがファイル型の出力パラメータを持っている場合に選択できます。また、先頭のシナリオでは選択することはできません。</p> <p> 詳しい設定方法は、『6.1.6 データ一覧ファイルで前段シナリオの出力パラメータを受け取ってみよう』も参照してください。</p>

4. [OK] をクリックします。



5. 「データ一覧ファイル」に設定内容が反映されます。

スケジュール設定

詳細設定を閉じる

スケジュール名
シナリオB 64文字以下

所属
共有

データ一覧ファイル
testCSV.csv 設定 クリア

WinActor
指定なし
シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定
データ駆動

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

OK キャンセル



データ一覧ファイルに対して誤った設定を行ってしまった場合は、データ一覧ファイルの [クリア] を押すとその設定内容がクリアされます。

9.2.4 実行させる WinActor を指定しよう

スケジュール設定画面では、そのスケジュールを実行させる WinActor を指定することができます。



一つのスケジュールに対して設定できる WinActor は 1 台までとなります。



スケジュール設定画面で指定した所属よりも、上位の所属または共有所属の WinActor を指定すると、スケジュールは実行されます。

スケジュール設定画面で指定した所属よりも、下位の所属（共有所属を除く）の WinActor を指定すると、スケジュール登録はされますが、実行はされませんので、ご注意ください。

Steps

1. スケジュール設定画面の [詳細設定を開く] ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 「WinActor」の項目が表示されます。[シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンをクリックします。



ユーザに紐づく WinActor が設定されていない場合は、初期状態は「指定なし」と表示されます。


ユーザに紐づく WinActor が設定されている場合は、その WinActor が既に設定されている状態となります。他の WinActor に変更したい場合は、WinActor 名右横の [クリア] ボタンをクリックし、再度 [シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンより WinActor を設定してください。

3. WinActor を選択するダイアログが表示されます。設定したい WinActor を選び、[選択] をクリックします。



4. 選択した WinActor が設定された状態となります。



 誤った WinActor を指定してしまった場合は、WinActor 名右横の [クリア] ボタンをクリックすると、「指定なし」に戻ります。再度 [シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンより WinActor を設定してください。

9.2.5 実行指定を変更しよう

スケジュール設定画面では、実行指定の設定を行うことで、そのスケジュールを実行させる日時や条件を指定することができます。

実行指定の種別には以下の表の 8 種類があります。ここでは、それぞれの設定方法について説明します。

表 9.2-2 実行指定の各種別の概要

項目名	概要
即時	日時を指定せずにスケジュールを実行します。 スケジュールを実行可能な WinActor が存在する場合はすぐに実行されます。 ▶▶ 実行指定で「即時」を設定する方法は、『9.2.5.1 実行指定で「即時」を設定しよう』を参照してください。
日時指定	日時を指定してスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「日時指定」を設定する方法は、『9.2.5.2 実行指定で「日時指定」を設定しよう』を参照してください。
毎日	毎日決まった時間にスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「毎日」を設定する方法は、『9.2.5.3 実行指定で「毎日」を設定しよう』を参照してください。
毎週	毎週決まった曜日と時間にスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「毎週」を設定する方法は、『9.2.5.4 実行指定で「毎週」を設定しよう』を参照してください。
毎月	毎月決まった日時にスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「毎月」を設定する方法は、『9.2.5.5 実行指定で「毎月」を設定しよう』を参照してください。
月末	月末の指定日前にスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「月末」を設定する方法は、『9.2.5.6 実行指定で「月末」を設定しよう』を参照してください。
データ駆動	アンサンブル機能を使ってデータが登録されたタイミングでスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「データ駆動」を設定する方法は、『9.2.5.7 実行指定で「データ駆動」を設定しよう』を参照してください。
条件指定	指定のフォーマットで設定した条件に従いスケジュールを実行します。 ▶▶ 実行指定で「条件指定」を設定する方法は、『9.2.5.8 実行指定で「条件指定」を設定しよう』を参照してください。



「実行指定」の初期状態は「データ駆動」です。



ステージ先頭のシナリオのスケジュール設定画面内で、以下のいずれか一つでも設定されている場合、「実行指定」で「データ駆動」以外を選択することができません。

- 「入力パラメータ」で「リクエスト文字列とする」を選択
- 「入力パラメータ」で「リクエストファイルとする」を選択
- 「承認者」で、承認者を1人以上指定
- 「データ一覧ファイル」で「リクエストファイルとする」を選択

また、ステージで2段目以降のシナリオのスケジュール設定画面では、他の設定内容にかかわらず、「実行指定」で「データ駆動」以外を選択することができません。

9.2.5.1実行指定で「即時」を設定しよう

ここでは、実行指定で「即時」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「即時」を指定します。

スケジュール設定

実行指定

データ駆動

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

OK キャンセル 削除

3. 「即時」を選択した場合は、プルダウン直下に他の入力項目は表示されないなので、これで設定完了です。

スケジュール設定

実行指定

即時

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

OK キャンセル 削除

9.2.5.2実行指定で「日時指定」を設定しよう

ここでは、実行指定で「日時指定」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

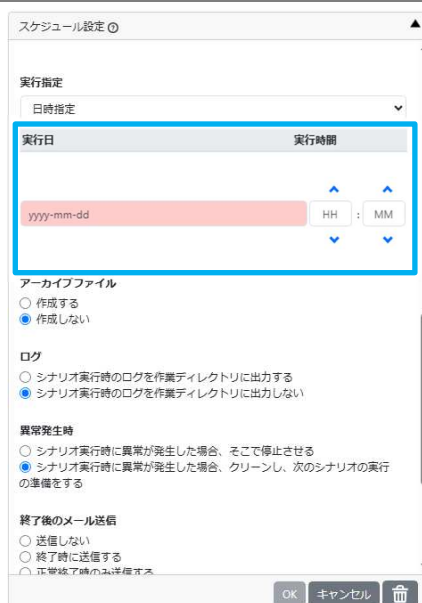
2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「日時指定」を指定します。



3. 「実行日」と「実行時間」が表示されます。
「実行日」には実行する日付を指定し、「実行時間」にはその日の何時何分に実行するかを入力してください。



「実行日」と「実行時間」はどちらも必須項目ですので、すべて入力してください。



9.2.5.3実行指定で「毎日」を設定しよう

ここでは、実行指定で「毎日」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「毎日」を指定します。

3. 「実行時間」が表示されます。
「実行時間」には毎日何時何分に実行するかを入力してください。



「実行時間」は必須項目ですので、必ず入力してください。

9.2.5.4実行指定で「毎週」を設定しよう

ここでは、実行指定で「毎週」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] [設定] [クリア]

B [] [設定] [クリア]

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル []

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「毎週」を指定します。

スケジュール設定

実行指定
データ駆動

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

ログ
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信
 送信しない
 終了時に送信する
 正常終了時のみ送信する
 異常終了時のみ送信する

リトライ回数
0 0以上12以下の数値

OK キャンセル

3. 「毎週何曜日」と「実行時間」が表示されます。
「毎週何曜日」には実行する曜日を指定し、「実行時間」にはその曜日の何時何分に実行するかを入力してください。



「毎週何曜日」と「実行時間」はどちらも必須項目ですので、すべて入力してください。

スケジュール設定

実行指定
毎週

毎週何曜日 実行時間
HH : MM

アーカイブファイル
 作成する
 作成しない

ログ
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信
 送信しない
 終了時に送信する
 正常終了時のみ送信する

リトライ回数
0 0以上12以下の数値

OK キャンセル

9.2.5.5実行指定で「毎月」を設定しよう

ここでは、実行指定で「毎月」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

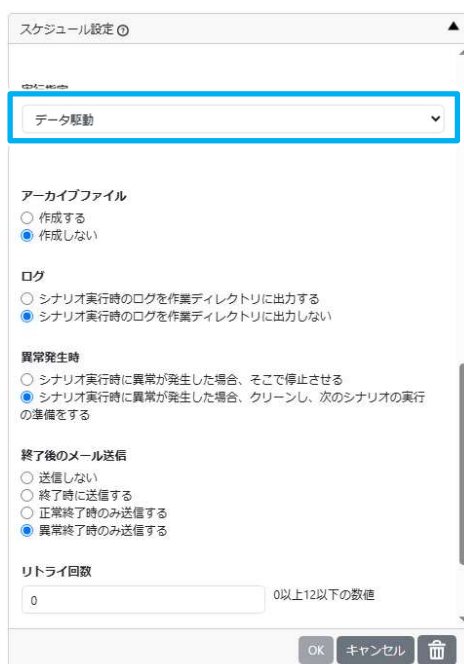
前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「毎月」を指定します。



3. 「毎月」と「実行時間」が表示されます。「毎月」には毎月実行する日にちを指定し、「実行時間」にはその日の何時何分に実行するかを入力してください。



「毎月」と「実行時間」はどちらも必須項目ですので、すべて入力してください。



9.2.5.6実行指定で「月末」を設定しよう

ここでは、実行指定で「月末」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「月末」を指定します。

スケジュール設定

実行指定

データ駆動

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

OK キャンセル 削除

3. 「月末何日前」と「実行時間」が表示されます。
「月末何日前」には毎月の末日から何日前に実行するかを指定し、「実行時間」にはその日の何時何分に実行するかを入力してください。



「月末何日前」と「実行時間」はどちらも必須項目ですので、すべて入力してください。

スケジュール設定

WinActor

指定なし

シナリオを実行するWinActorを指定する

実行指定

月末

月末何日前

実行時間

HH : MM

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

OK キャンセル 削除

9.2.5.7実行指定で「データ駆動」を設定しよう

ここでは、実行指定で「データ駆動」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] [設定] [クリア]

B [] [設定] [クリア]

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)

D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル [ごみ]

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「データ駆動」を指定します。

3. 「データ駆動」を選択した場合は、プルダウン直下に他の入力項目は表示されないため、これで設定完了です。



実行指定で「データ駆動」とした場合、必須項目への設定が必要となりますので、ご注意ください。

- ▶▶ 先頭シナリオの必須項目については、『4.1 先頭のシナリオの設定項目について』を参照してください。
- ▶▶ 2 段目以降のシナリオの必須項目については、『6.1 2 段目以降のシナリオの設定項目について』を参照してください。

9.2.5.8実行指定で「条件指定」を設定しよう

ここでは、実行指定で「条件指定」を設定する方法について説明します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] [設定] [クリア]

B [] [設定] [クリア]

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル []

2. 実行指定の項目が表示されるので、プルダウンをクリックし、「条件指定」を指定します。

スケジュール設定

データ駆動

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

OK キャンセル

3. 「実行条件」が表示されます。「実行条件」は以下の表に示す項目で構成されています。設定したい内容に応じて入力してください。

スケジュール設定

実行指定

条件指定

実行条件

開始年月 年 月

終了年月 年 月

日付・曜日指定 日付・曜日の指定無し

時間指定 0 時から 時まで 時間ごと

分指定 0 分から 分ごと

cron式 (参考値) 00***

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

OK キャンセル

表 9.2-3 実行条件の各項目の概要

項目名	概要
開始年月	スケジュールを実行開始する年月を指定します。
終了年月	スケジュールを実行終了する年月を指定します。
日・曜日指定	<ul style="list-style-type: none"> • 日・曜日の指定無し スケジュールを実行する日と曜日を指定しません。 • 日のみ指定 月の何日から何日にスケジュールを実行するか及び、その期間の何日ごとにスケジュールを実行するかを指定します。 • 曜日のみ指定 毎週何曜日にスケジュールを実行するかを指定します。複数の曜日を選択することができます。
時間指定	何時から何時にスケジュールを実行するか及び、その期間の何時間ごとにスケジュールを実行するかを指定します。
分指定	何分にスケジュールを実行するか及び、何分ごとにスケジュールを実行するかを指定します。
cron 式	指定した条件での cron 式を参考表示します。



「実行条件」内の項目への入力はすべて任意です。

ただし、開始年を終了年よりも後の年として指定するなど、開始/終了時間の前後関係が矛盾する場合は、スケジュール登録ができませんので、正しい時間を設定してください。

9.2.6 アーカイブファイルを作成しよう

スケジュール設定画面の「アーカイブファイル」では、アーカイブファイルを作成するかどうかを設定することができます。

アーカイブファイルを「作成する」と設定されたスケジュールは実行終了時に、作業ディレクトリのアーカイブを zip ファイルとして作成し、WinActor Manager へアップロードします。

アップロードされたファイルは WinActor Manager のファイルメニューからダウンロードして確認してください。



この設定を行うと、その後段シナリオのスケジュール設定画面の入力パラメータに、アーカイブファイルを受け取る設定をすることができます。



アーカイブファイルを受け取る設定の方法は、『6.1.2 入力パラメータで前段シナリオのアーカイブファイルを受け取ってみよう』を参照してください。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A [] [設定] [クリア]

B [] [設定] [クリア]

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)

D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル 削除

2. 「アーカイブファイル」の項目が表示されます。設定したい項目を選択します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル 削除



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「アーカイブファイル」で設定された項目が、スケジュール設定画面で初期選択されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「作成しない」が初期選択されています。

9.2.7 ログを出力しよう

スケジュール設定画面の「ログ」では、そのシナリオのスケジュール実行後にログを作成するかどうかを設定することができます。

「シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する」と設定されたスケジュールは実行終了時に、ログが作業ディレクトリに出力されます。



シナリオ実行時のログを回収したい場合は、さらにアーカイブファイルを「作成する」と設定することで、作業ディレクトリのアーカイブファイルを WinActor Manager にアップロードすることができます。

アップロードされたファイルは WinActor Manager のファイルメニューからダウンロードして確認してください。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A 設定 クリア

B 設定 クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)

D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル 削除

2. 「ログ」の項目が表示されます。設定したい項目を選択します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル 削除



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「ログ」で設定された項目が、スケジュール設定画面で初期選択されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない」が初期選択されています。

9.2.8 異常発生時の WinActor の動作を設定しよう

スケジュール設定画面の「異常発生時」では、シナリオを実行したときに異常が発生した場合の対処方法を指定することができます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A 設定 クリア

B 設定 クリア

承認者
指定なし
承認者を追加する

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

詳細設定を開く

OK キャンセル

2. 「異常発生時」の項目が表示されます。設定したい項目を選択します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「異常発生時」で設定された項目が、スケジュール設定画面で初期選択されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする」が初期選択されています。

9.2.9 終了後のメール送信の条件を指定しよう

スケジュール設定画面の「終了後のメール送信」では、タスク実行時の結果に応じて、メールを送信するかどうかを設定することができます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

2. 「終了後のメール送信」の項目が表示されます。設定したい項目を選択します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

- 作成する
- 作成しない

ログ

- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

- 送信しない
- 終了時に送信する
- 正常終了時のみ送信する
- 異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル 閉



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「終了後のメール送信」で設定された項目が、スケジュール設定画面で初期選択されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「異常終了時のみ送信する」が初期選択されています。

9.2.10 リトライ回数を指定しよう

スケジュール設定画面の「リトライ回数」では、タスクの実行が失敗した場合に再実行する回数を指定することができます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)

D (文字列)

2. 「リトライ回数」の項目が表示されます。0～12の範囲内の数字を入力します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「リトライ回数」で設定された値が、スケジュール設定画面で初期入力されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「0」が初期入力されています。

9.2.11 リトライ間隔を指定しよう

スケジュール設定画面の「リトライ間隔」では、タスクの実行が失敗した場合に再実行タスクが実行されるまでの時間を指定します。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし

前段シナリオの正常終了時に実行する

前段シナリオの異常終了時に実行する

前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)

D (文字列)

2. 「リトライ間隔」の項目が表示されます。0～3600 の範囲内の数字を入力します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0以上12以下の数値

リトライ間隔

以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

200文字以下

OK キャンセル



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「リトライ間隔」で設定された値が、スケジュール設定画面で初期入力されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、「0」が初期入力されています。

9.2.12 メモを設定しよう

スケジュール設定画面では、そのスケジュールに対してメモを設定できます。

Steps

1. スケジュール設定画面の「詳細設定を開く」ボタンをクリックします。

スケジュール設定

シナリオ名
シナリオB

入力パラメータ

A

B

承認者
指定なし

前段シナリオの終了状態による本シナリオの実行

指定なし
 前段シナリオの正常終了時に実行する
 前段シナリオの異常終了時に実行する
 前段シナリオの正常終了時、異常終了時のどちらでも実行する

出力パラメータ

C (文字列)
D (文字列)

1. 「メモ」の項目が表示されます。200文字以下でメモを入力します。

スケジュール設定

アーカイブファイル

作成する

作成しない

ログ

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する

シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる

シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信

送信しない

終了時に送信する

正常終了時のみ送信する

異常終了時のみ送信する

リトライ回数

0 0以上12以下の数値

リトライ間隔

0 0以上3600以下の数値 単位は秒

メモ

0文字以下

OK キャンセル



シナリオにオプションセットが設定されている場合、そのオプションセットの「メモ」で設定された値が、スケジュール設定画面で初期入力されている状態となります。

また、シナリオにオプションセットが設定されていない場合は、初期状態は空欄となります。



WinActor
Manager on Cloud[®]

WinActor Manager
アンサンブルエディタ
ユーザーマニュアル

NTT アドバンステクノロジー株式会社

© 2026 NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WMC-SP-2026-0216
